

# 令和7年度 第1回 甲賀市地域公共交通活性化協議会 次第

・日 時 令和7年5月19日（月）

15:00～

・場 所 みなくるプラザ（鹿深ホール）

## 1 開 会

## 2 会長あいさつ

## 3 報告事項

- ・報告第1号 役員及び委員の選出について

資料1

## 4 協議事項

- ・第1号議案 令和6年度事業報告について

資料2

- ・第2号議案 令和6年度収支決算報告について

資料3

- ・第3号議案 令和7年度事業計画（案）について

資料4

- ・第4号議案 令和7年度収支予算（案）について

資料5

- ・第5号議案 令和8年度 地域間幹線系統国庫補助金の計画認定申請について

資料6

- ・第6号議案 甲賀市地域公共交通計画の修正について

資料7

- ・第7号議案 公共交通を利用した体験学習等事業費補助金交付要領の制定  
について

資料8

## 5 その他

## 6 閉会

## 甲賀市地域公共交通活性化協議会について

本市では、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」（平成19年法律第59号）の規定に基づく法定協議会である「甲賀市地域公共交通活性化協議会」を平成21年3月13日に設置しました。

本協議会では、地域交通について総合的な検討を行い、関係者と合意形成を図りながら、本市にとって最適な公共交通を実現するため、実証実験や利用促進などを検討・実施しております。

また、本協議会には分科会（自動車・運賃協議部会）を設置しており、本部会では道路運送法の規定に基づく地域公共交通会議の機能を有しておりますことから、主にコミュニティバスの路線再編やダイヤ改定、運賃改定等を運行事業者からの提案に基づいて協議いただくこととなっております。

## 役員及び委員の選出について

### 1. 委員の選出について

本協議会の任期は2年間であり、今年度は改選年度となります。

本年度より、新しく2名に委員委嘱させていただきます。また、当協議会に長年ご尽力いただきました「ゆうゆう甲賀クラブ」は、組織が解散したため、今年度から委員の委嘱はございません。

なお、4ページに令和7年度協議会委員一覧を記載しておりますが、甲賀市PTA連絡協議会は、現時点で委員が未確定であるため、名簿氏名に「未定」と表記しております。

#### ●今年度より新しく委嘱する委員

- ・学識経験を有する者（要綱第4条6項の2）

大谷大学社会学部コミュニティデザイン学科 講師 野村 実 委員

- ・関係する団体（要綱第4条6項の4）

（一社）甲賀市観光まちづくり協会 会長 小山 剛 委員

甲賀市地域公共交通活性化協議会設置要綱（抜粋）

（組織）

第4条 協議会は、会長、副会長及び委員をもって組織する。

6 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

- （1） 関係行政機関の職員
- （2） 学識経験を有する者
- （3） 市民又は市内公共交通の利用者
- （4） 関係する公共交通事業者、団体、道路管理者その他交通計画に定めようとする事業を実施すると見込まれる者が指名する者
- （5） 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体が指名する者
- （6） 市職員
- （7） 前各号に掲げる者のほか、協議会の運営上必要と認められる者

（任期）

第5条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

### 2. 役員の選出について

設置要綱第4条に基づき、会長は甲賀市副市長を充て、昨年度同様、副会長は甲賀市建設部より、また監査委員は、甲賀市区長連合会・甲賀市商工会より推薦いただいた委員に依頼させていただきます。

・ 会 長                    甲賀市 副市長                    伴   孝史

・ 副会長                    甲賀市 建設部                    藤橋 克志

・ 監査委員                    甲賀市商工会                    吉川 徹                    委員

甲賀市区長代表                    丸山 謙次                    委員

甲賀市地域公共交通活性化協議会設置要綱（抜粋）

（組織）

第4条 協議会は、会長、副会長及び委員をもって組織する。

2 会長は、副市長をもって充てる。

4 副会長は、委員の中から会長が指名する。

（監査）

第12条 協議会に監査委員を2人置く。

2 監査委員は、委員の中から会長が指名する。

### 3. 分科会委員の選出について

設置要綱第9条の規定により、協議会の業務を円滑に行うため、協議会に分科会を設置いたします。各分科会の部会委員については4ページのとおりです。

甲賀市地域公共交通活性化協議会設置要綱（抜粋）

（分科会）

第9条 第3条各号に掲げる事項について協議会の業務を円滑に行うため、協議会に分科会を置くことができる。

2 分科会の種類は、次に掲げるとおりとする。

（1）道路運送法施行規則（昭和26年運輸省令第75号）第4条第2項に規定する地域公共交通会議として設置される自動車部会

（2）道路運送法（昭和26年法律第183号）第9条第4項に規定する協議会として設置される運賃協議部会

（3）その他機動的に特定の課題を調査研究するために設置される部会

3 分科会の組織、運営その他必要な事項は、会長が別に定める。

#### ① 自動車部会員

下記の規定に基づき、4ページ記載の委員名簿のとおりとさせていただきます。

甲賀市地域公共交通活性化協議会自動車部会規程（抜粋）

（組織）

第4条 部会は、部会長及び部会委員をもって組織する。

2 部会長は、協議会会長が指名する。

4 部会委員は、次に掲げる者のうちから協議会会長が指名する。

（1）国及び県における公共交通に関係する行政機関の職員

（2）地域における公共交通に関係する諸団体及び利用者の代表者

（3）関係バス事業者

（4）一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体が指名する者

（5）公共交通に関係する部署の市の職員

（6）前各号に掲げるもののほか、市長が適当と認める者



## ②運賃協議部会員

下記の規定に基づき、4 ページ記載の委員名簿のとおりとさせていただきます。

甲賀市地域公共交通活性化協議会運賃協議部会規程（抜粋）

（組織）

第4条 部会は、部会長及び部会委員をもって組織する。

2 部会長は、協議会会長が指名する。

3 部会長は、部会を代表し、その会務を総括する。

4 部会委員は、次に掲げる者のうちから協議会会長が指名する。

- （1） 国における当該路線を管轄する行政機関の職員
- （2） 地域における公共交通に関係する諸団体及び利用者の代表者
- （3） 運賃を定めようとする一般乗合旅客自動車運送事業者
- （4） 運賃を定めようとする路線をその区域に含む県および市職員

# 令和7年度 甲賀市地域公共交通活性化協議会委員

(敬称略)

役 職	機 関 及 び 団 体 名	職 名	氏 名	備 考
会 長	甲 賀 市	副 市 長	伴 孝 史	
副 会 長	甲 賀 市 建 設 部	理 事	藤 橋 克 志	分科会部会長

## 【委員】

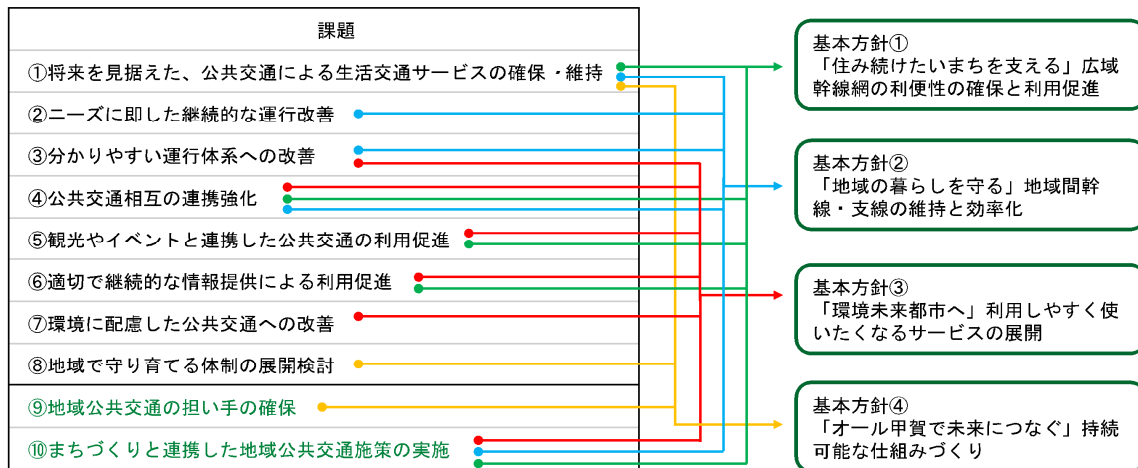
	分 野	機 関 及 び 団 体 名	職 名	氏 名	自動車部会	運賃協議部会	備 考
1	所 管 運 輸 行 政	国土交通省近畿運輸局滋賀運輸支局	首席 運輸企画専門官	喜多畑 敦嗣	○	○	
1	広 域 交 通 行 政	滋賀県土木交通部交通戦略課	参 事	福 島 森	○		
1	道 路 管 理 者	滋賀県甲賀土木事務所	次 長	石 田 勝 也	○		
1	所管警察（交通）	滋賀県甲賀警察署交通課	交通課長	宮 崎 泰 行	○		
2	学 識 経 験 者	龍谷大学文学部歴史学科	教 授	井 上 学	○		
2	学 識 経 験 者	大谷大学社会学部コミュニティデザイン学科	講 師	野 村 実	○		
3	市 民 代 表	甲 賀 市 区 長 代 表	土地地域区長会 副会長	丸 山 謙 次	○	○	監査委員
3	市 民 代 表	甲 賀 市 身 体 障 害 者 更 生 会	副会長	岩 田 孝 之	○		
3	市 民 代 表	甲 賀 市 P T A 連 絡 協 議 会		未 定	○		
3	関 係 団 体 （ 福 祉 ）	社会福祉法人甲賀市社会福祉協議会	地域福祉課長	大 谷 喜 久	○		
3	関 係 団 体 （ 商 工 ）	甲 賀 市 商 工 会	事務局長	吉 川 徹	○	○	監査委員
3	関 係 団 体 （ 観 光 ）	一般社団法人甲賀市観光まちづくり協会	会 長	小 山 剛	○		
4	鉄 道 事 業 者	西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部京滋支社	室 長	池田 奈津子			
4	鉄 道 事 業 者	近 江 鉄 道 株 式 会 社	執行役員鉄道部長	松本 康一郎			
4	鉄 道 事 業 者	信 楽 高 原 鐵 道 株 式 会 社	代表取締役社長	正木 仙治郎			
4	バ ス 協 会	一般社団法人滋賀県バス協会	専務理事	野 村 義 明	○		
4	タ ク シ ー 協 会	一般社団法人滋賀県タクシー協会	専務理事	松 尾 武 文	○		
4	一 般 乗 合	滋 賀 バ ス 株 式 会 社	企画課	西 岡 幸 大	○	○	
4	一 般 乗 合	株式会社シガ・エージェントシステム	代表取締役	松 岡 政 敏	○	○	
4	一 般 乗 合	帝 産 湖 南 交 通 株 式 会 社	運輸部長	新 幸 雄	○	○	
5	一般旅客自動車運送事業者の事業用 自動車の運転者が組織する団体	私鉄労働組合滋賀県協議会	幹 事	糸 隆 太 郎	○		
6	一 般 乗 用	滋 賀 タ ク シ ー 株 式 会 社	業務課長	山 本 義 行	○	○	
6	一 般 乗 用	株 式 会 社 た め き タ ク シ ー	取締役	林 輝 彦	○		
6	一 般 乗 用	株式会社ビジネスサービス滋賀	営業部長	大 伴 裕 二	○		
7	甲 賀 市 職 員	甲 賀 市 総 合 政 策 部	次 長	山 本 典 彦	○	○	
7	甲 賀 市 職 員	甲 賀 市 市 民 環 境 部	次 長	前 田 三 嗣	○	○	
7	甲 賀 市 職 員	甲 賀 市 産 業 経 済 部	次 長	伊 東 正 樹	○	○	
7	甲 賀 市 職 員	甲 賀 市 健 康 福 祉 部	次 長	村 田 稔 明	○	○	
7	甲 賀 市 職 員	甲 賀 市 教 育 委 員 会 事 務 局	次 長	小 島 靖 弘	○	○	
7	甲 賀 市 職 員	甲 賀 市 建 設 部	次 長	薄 井 寛 喜	○	○	
事務局	甲 賀 市 建 設 部 公 共 交 通 推 進 課	理事員	小 國 勝 正				
		課 長	中 村 正 太				事務局長
		課長補佐	濱 邊 孝 司				
		係 長	藤 川 卓 磨				
		主 査	田 中 亮 平				
		主 査	橋 本 直 樹				
		主 査	野 口 功 貴				
		主 事	垣 山 聖				

## 令和6年度事業報告

「甲賀市地域公共交通計画」の基本理念のもと、目標を達成するために抽出した10の課題をクリアするために定めた4つの基本方針に基づく15の事業を実施しました。

## 《計画の基本理念》

環境未来都市へ 人と自然の豊かさを創る 甲賀の地域公共交通  
～ 次世代へ みんなで創り 使って 育て 暮らしの一部に ～



基本方針	施策メニュー
1. 「住み続けたいまちを支える」広域幹線網の利便性の確保と利用促進	①まちづくりと連携した交通結節機能の整備
	②JR 草津線の利用促進と利便性向上
	③近江鉄道の利用促進と安全運行の確保
2. 「地域の暮らしを守る」地域間幹線・支線の維持と効率化	④コミバス・コミタクの再編
	⑤信楽高原鐵道の安定経営と安全運行および利便性の確保
	⑥乗り継ぎ環境・接続性の改善
3. 「環境未来都市へ」利用しやすく使いたくなるサービスの展開	⑦人と環境にやさしい車両・施設等の整備
	⑧わかりやすい情報提供の推進
	⑨ICT 等、新技術を活用したスマートモビリティ・マネジメントの推進
	⑩周遊性を高めるための利用促進
	⑪モビリティ・マネジメントの実施
4. 「オール甲賀で未来につなぐ」持続可能な仕組みづくり	⑫関連する団体や関係機関との連携推進
	⑬新たな収益モデルの構築
	⑭地域で守り育てる体制の構築
	⑮地域公共交通の担い手確保

※以下、青字で記載している事業は、協議会で経費支出した事業ではなく、市が負担しているが、一般会計での支出もしくは他団体が主体となり実施した事業です。

## 基本方針1 「住み続けたいまちを支える」広域幹線網の利便性の確保と利用促進

…主に、JR草津線等の利用促進を図ります。

### ① まちづくりと連携した交通結節機能の整備

貴生川駅をはじめ、主要駅の利便性と快適性を向上する取り組みを実施しました。

- ・貴生川駅周辺整備基本構想に基づく社会実験の実施



### ② JR草津線の利用促進と利便性向上

県や沿線自治体で組織する「滋賀県草津線複線化促進期成同盟会」による取り組み実施や、本市独自にJRと連携しながら、その利用促進や利便性向上、地域活性化に取り組みました。

#### ◆滋賀県草津線複線化促進期成同盟会による主な取り組み

- ・レンタサイクルの配備(貴生川駅～油日駅の各駅)
- ・園児・児童体験学習運賃補助事業
- ・SNS (Instagram・Facebook) による情報発信
- ・車掌による沿線紹介アナウンスの実施
- ・勉強会、意見交換会への参加(2回)
- ・草津線沿線企業へ公共交通を利用した通勤の啓発等(市内3社とモニター転換実施)
- ・草津線を対象とした「フォトコンテスト」の開催(370点応募)
- ・こどもICOCA 普及促進事業(74名申請。作成者に2,000円分の図書カードを進呈)

#### ◆甲賀市独自の取り組み

- ・ICOCA チャージキャンペーン

…市民交流駅4駅で5,000円以上チャージした場合に

オリジナルグッズ(右写真参照)を進呈(先着500個) **別紙1**

- ・アニメ「忍ばない! クリプトニンジャ咲耶」とコラボし、市内各駅を対象としたスタンプラリーを実施(最終参加者207名) **別紙2**



- ・「甲賀五十三家おもてなし忍者隊」とコラボし、甲賀駅～油日駅間を乗車する利用促進イベント「忍者でGO」を開催(2日間計4回、約50人参加) **別紙3**



・草津線等を活用した観光周遊事業

観光まちづくり協会に発注し、各種周遊イベントを実施。



・2次交通の改善(コミバス)

工業団地、通学利用が多い路線の増便、拡充等により利便性向上

- ・JR 草津線利用促進・利便性向上検討調査業務委託(R5 繰越)

リニア新幹線影響評価、利用者アンケート、利用者将来予測、利用促進策の検討

◆公共交通利用促進補助事業

- ・駅前活性化実証事業・・・うしかい田んぼアート実行委員会/甲賀駅を育てる会へ補助
- ・運賃補助事業・・・各種団体、小中学校へ運賃を補助(53件、約1,240千円を補助)

③ 近江鉄道の利用促進と安全運行の確保

施設整備等に負担金を支出するほか、県や沿線自治体と連携して利用促進や利便性向上、地域活性化に取り組みました。

- ・沿線学校、企業への利用促進啓発、ガチャフェスの実施 など





## 基本方針2 「地域の暮らしを守る」地域間幹線・支線の維持と効率化

…コミバス、コミタクの改善・ダイヤ改正、信楽高原鐵道の利用促進に取り組みます。

### ④ コミバス・コミタクの再編

運転手不足、2024年問題への対応、利用状況に応じた効率化および市民等からの意見を参考に、利便性の向上に取り組みました。

#### ◆主な改正内容（詳細は、別紙4 参照）

- ・運転手不足、労働時間改善基準告示の改正に対応するため、便あたり利用者数が著しく少ない便や重複する区間を運行する便等を減便
- ・JR 貴生川駅での草津線接続利便を向上するため、ダイヤを改善
- ・土山地域において廃止となるコミバスの代替の移動手段として、「甲賀流公共ライドシェア」を導入（詳細は、別紙5 参照。4月1か月で約400名利用）



### ⑤ 信楽高原鐵道の安定経営と安全運行および利便性の確保

第三種鉄道事業者として、安全を最優先に施設の修繕や改良を行いました。また、信楽高原鐵道株式会社と連携して利用促進に取り組みました。

- ・社会資本整備総合交付金を活用した施設整備
- ・地域と連携した利用促進
  - …夢の学習と連携した鉄道見学(3回、約50名)、季節に応じた車内装飾、団体観光誘客
- ・昔の鉄道やバスの写真を展示する「甲賀市公共交通の歩み 写真展」を期間限定で共同開催 別紙6



- ・近江鉄道「ガチャフェス」開催日に連携事業として、「信楽高原鐵道文化祭」を開催
- ・甲賀市制施行20周年を記念した、市内鉄道全駅の記念硬券を連携販売 別紙7



## ⑥ 乗り継ぎ環境・接続性の改善

利便性、快適性の向上を図るため、駅やバス停の待合環境の整備や JR との接続利便を改善しました。

- ・田村神社バス停、水口西部コミセンバス停の改修



- ・待合ベンチの整備



- ・トリックアートの設置（寺庄駅）



## ⑦ 人と環境にやさしい車両・施設等の整備

老朽化したバス車両を低床車両に更新(2両)したほか、心のバリアフリーとして小学生向けに交通環境学習を実施しました。

- ・小学校での車いす体験





### 基本方針3 「環境未来都市へ」利用しやすく使いたくなるサービスの展開

- ・・・ICTを活用し利便性を向上します。また、過度な自動車利用からの転換を図り、人と環境にやさしい移動手段を選択するための取り組みを進めます。

#### ⑧ わかりやすい情報提供

- ・甲賀市公共交通連携時刻表の作成【令和7年4月1日改定分】

発行部数	エリア版	6,500部(B3判 カラー 4～8ページ)
	ポケット版	16,000部(ポケット版 カラー 71ページ)
配布先	各センター等の公共施設、市内有人駅等に設置	

- ・運行情報確認サービスの提供、ホームページでの時刻表掲載

##### 市内の公共交通機関運行情報（外部サイト）

- ・信楽高原鐵道 <https://koka-skr.co.jp/>  
([https://twitter.com/SHIGARAKI\\_St](https://twitter.com/SHIGARAKI_St) ※信楽高原鐵道ツイッター)
- ・JR西日本 <https://trafficinfo.westjr.co.jp/list.html>
- ・近江鐵道 <http://www.ohmitetudo.co.jp/>
- ・帝産湖南交通株式会社 <https://shiga-teisan.co.jp/>

※湖南市のコミュニティバス運行情報についてはこちらをご覧ください。

<https://www.city.shiga-konan.lg.jp/kurashi/doro/2/2/index.html>（湖南市ホームページへリンク）

##### コミュニティバス運行位置がわかる位置情報サービス



バスロケサービスの機能追加により↑の画像から現在運行中のバス情報がわかるようになりました。

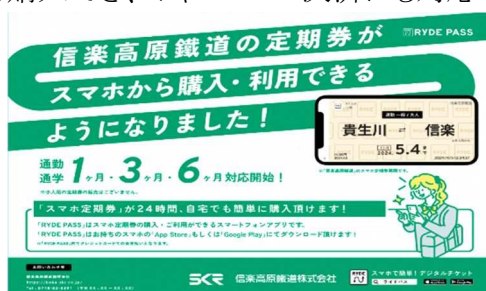
- ・パンフレットラックの整備



#### ⑨ ICT等を活用した利便性向上

- ・デジタル定期券システム(コミュニティバス49件・信楽高原鐵道28件)

専用の「RYDE PASS」アプリをダウンロードすることで、「定期券」や「フリー乗車券」をスマホ等で購入でき、キャッシュレス決済にも対応





## 《第1号議案》令和6年度事業報告について

### ・スマートバス停の設置

主要バス停に、運行時間や運行情報（走行位置、混雑情報）が確認できるデジタルサイネージを設置

貴生川駅・近江土山・甲賀病院・甲賀市役所(庁舎側)・・・デジタルサイネージのみ  
甲賀市役所(西友側)・・・屋根付待合所、デジタルサイネージ

貴生川駅改札前にデジタルサイネージを新しく設置



道の駅「あいの土山」に設置するデジタルサイネージを購入。道の駅改修工事終了後、供用開始予定

## ⑩周遊性を高めるための利用促進

上記利用促進事業を参照

## ⑪モビリティマネジメントの実施

市民の公共交通利用促進への意識を醸成するため、「公共交通のまち」を市内外に広くPRするためのグッズ作成や、市制施行20周年を契機としたイベント開催、各種イベント会場でのPRおよび将来を担う子どもたちへの利用促進を実施しました。

- ・甲賀市制施行20周年を記念した、市内鉄道全駅の記念硬券を販売（再掲）  
（500部作成・480部販売） **別紙7**

- ・両市の市制施行20周年を記念し、湖南市とコラボして甲賀市湖南市のコミバスフリー乗車券を販売 **別紙8**



- ・市内主要駅や甲賀市役所バス停等に、昔の鉄道やバスの写真を展示する「甲賀市公共交通の歩み 写真展」を期間限定で開催(再掲) **別紙6**

- ・草津市の商業施設「エイスクエア」にて、甲賀市の交通に関するブースを設け、PRを実施（令和7年9月21日～23日）



## 《第1号議案》令和6年度事業報告について

- ・こうかエキスポ 2024 において、電動トゥクトゥク等の乗車体験、交通に関するブースを設け、PR を実施(令和7年9月29日)



- ・京都鉄道博物館において、甲賀市内の公共交通機関を PR する期間限定ブースを設置(令和7年11月9日～10日)



- ・「公共交通のまちこうか」を PR するためのグッズ作成



- ・県と連携した交通環境学習の実施

公共交通に関心を持ち、短期的な利用につなげるとともに、将来的な利用に結び付けることを目的に、小学生を対象として、環境にやさしい公共交通についての学習を実施しました。

(R6実績) 12校、13回実施(実施回数: 県1位)

伴谷小2・4年生、伴谷東小2年生、柏木小2年生、綾野小2年生、大野小1・2年生、  
甲南第一小2年生、甲南第三小4年生、甲南中部小2年生、希望ヶ丘小3年生、  
信楽小2年生、雲井小2年生、多羅尾小全学年

※学習効果を最大限にするため、本市独自に「運賃補助制度」を創設し、校外学習での利用を促進しました。(市内小中学校を中心に12校が制度を活用)





・日本モビリティマネジメント会議への参加(8/24,25)

自動車から公共交通への利用を促すためのモビリティマネジメント施策について、有識者や自治体職員、コンサル等が事例や研究を発表され、効率的に多くの事例を調査・研究できました。

日 時:8月24日・25日(2日間:24日10時～25日17時)

場 所:福井市 フェニックスプラザ

内 容:有識者や先進事例の講習…4件、成功事例の報告…6件、ブース形式での事例発表…94件

合計104件の事例発表

・グリーンスローモビリティの導入実証実験の実施

「甲賀市役所～本水口周辺」の区間を運行(2/27～3/1)

「土山ひなまつり」の開催にあわせ、会場周辺の旧東海道沿いを運行(3/2)

延べ4日間で約100名が利用



**グリーンスローモビリティ実証実験**

まちなかひな祭りに合わせて、新たな地域内交通のための実証実験を実施されました。

小型電動カート  
グリーンスローモビリティ  
甲賀市・土山

2月27日～3月1日  
2月27日～3月1日  
2月27日～3月1日

本水口～みなくろプラザ  
体験乗車募集!(無料)

2025.2.27(木)・28(金)・3.1(土)の3日間  
運行ルートは、市ホームページをご覧ください

平日(2/27-28)ダイヤ

区間	1便	2便	3便	4便	5便	6便
本水口バス停	9:20	11:10	13:00	14:50	16:40	18:30
みなくろプラザ	9:35	11:25	13:15	15:05	16:55	18:45
甲賀市役所	9:50	11:40	13:30	15:20	17:10	19:00
本水口バス停	10:05	11:55	13:45	15:35	17:25	19:15

土曜日(3/1)ダイヤ

区間	1便	2便	3便	4便	5便	6便
本水口バス停	9:20	11:10	13:00	14:50	16:40	18:30
みなくろプラザ	9:35	11:25	13:15	15:05	16:55	18:45
甲賀市役所	9:50	11:40	13:30	15:20	17:10	19:00
本水口バス停	10:05	11:55	13:45	15:35	17:25	19:15

甲賀市地域公共交通活性化協議会  
予約・運行について(協議会事務局:甲賀市公共交通推進課)  
TEL:0748-69-2215(勤務時間内)

東海道水口宿グリスロ実証運行  
試乗方法

2025.2.27(木)・28(金)・3.1(土)の3日間  
運行ルートは、市ホームページをご覧ください

平日(2/27-28)ダイヤ

区間	1便	2便	3便	4便	5便	6便
本水口バス停	9:20	11:10	13:00	14:50	16:40	18:30
みなくろプラザ	9:35	11:25	13:15	15:05	16:55	18:45
甲賀市役所	9:50	11:40	13:30	15:20	17:10	19:00
本水口バス停	10:05	11:55	13:45	15:35	17:25	19:15

土曜日(3/1)ダイヤ

区間	1便	2便	3便	4便	5便	6便
本水口バス停	9:20	11:10	13:00	14:50	16:40	18:30
みなくろプラザ	9:35	11:25	13:15	15:05	16:55	18:45
甲賀市役所	9:50	11:40	13:30	15:20	17:10	19:00
本水口バス停	10:05	11:55	13:45	15:35	17:25	19:15

甲賀市地域公共交通活性化協議会事務局(甲賀市公共交通推進課内)  
予約・運行について(協議会事務局:甲賀市公共交通推進課)  
TEL:0748-69-2215(勤務時間内)

基本方針4 「オール甲賀で未来につなぐ」持続可能な仕組みづくり

…不足する運転手の確保、新たな収益モデルの構築を目指すとともに、地域と連携して持続可能な仕組みを構築するための事業を実施します。

⑫ 関係する団体や機関との連携推進

・各種同盟会との連携

滋賀県草津線複線化期成同盟会・関西本線木津亀山間活性化協議会

びわこ京阪奈線建設期成同盟会・信楽高原鐵道利用促進協議会

近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会

・近隣自治体との広域連携

いこか連携(伊賀・甲賀・亀山)・甲賀市、湖南市広域連携

### ⑬ 新たな収益モデルの構築

- ・地域間幹線系統国庫補助の申請・・・土山本線

### ⑭ 地域で守り育てる体制の構築

- ・駅前活性化実証事業補助

うしかい田んぼアート実行委員会(田んぼアートの開催経費)



甲賀駅を育てる会(駅の活性化、利用促進に資する事業)



- ・持続可能な地域移動支援事業補助金

(実績)

ボランティア運行支援:区・自治会2件(大原上田、坪坂)  
利用促進事業:1件(貴生川まちづくり協議会)

## 地域が実施する自主運行事業等への支援について

### ■ 補助事業の詳細

#### 1 ボランティア自主運行事業

自家用車や社協等から借り入れた車両を利用し、ボランティアの運転手が通院や買い物などの移動を支援する**運行事業に補助**する。

(補助対象となるもの)

- ・車両の借り上げ経費、ガソリン代、保険料等(運行事業に関するもの)
  - ・先進事例の視察や講演会における講師謝礼に関する経費
  - ・利用者の調整等を行う職員の人件費
- ※法律で、運転の対価となる謝礼、給料は補助できません。(支払いができない)

#### 2 公共交通利用促進協働事業

市、市民とともに地域の特性に応じた利用促進を実施した経費に対し補助する。

(補助対象となるもの)

- ・移動に関して、ニーズ把握のためなどに実施するアンケート、調査費用
- ・先進事例の視察や講演会における講師謝礼に関する経費
- ・その他、計画に基づき実施する利用促進に資すると判断できるもの

【事業実施の例】

- ・お年寄り向けのコミタクの乗り方教室開催経費
- ・バスや鉄道を利用した親子向けの乗車体験やスタンプラリーなどの開催に要する費用
- ・区や地域の特性にあわせた地域版時刻表の作成、利用促進啓発チラシの作成経費
- ・移動に関しての困りごとなどのアンケートを実施する経費

### ⑮ 地域公共交通の担い手確保

運転手不足の改善のため、県や国、事業者との意見交換を定期的に行う

## ● 協議会開催状況

令和6年度の協議会開催実績は以下のとおりです。

開催日	事 項	内 容
令和6年5月17日	第1回甲賀市地域公共交通活性化協議会 総会	令和5年度事業報告及び決算について 令和6年度事業計画及び予算（案）について 地域間幹線系統国庫補助金の計画認定申請について
書面開催 （令和6年6月21日付送付）	第2回甲賀市地域公共交通活性化協議会 総会	甲賀市地域公共交通計画の変更について 令和7年度地域間幹線系統確保維持費国庫補助金の申請について
書面開催 （令和6年8月6日付送付）	第1回甲賀市地域公共交通活性化協議会 自動車部会	コミュニティバスの運行経路変更・停留所新設について
令和6年12月16日	第3回甲賀市地域公共交通活性化協議会 総会	コミバス・コミタクのダイヤ改正方針について 土山地域における自家用有償旅客運送の導入および実証運行について
令和7年2月5日	第2回甲賀市地域公共交通活性化協議会 自動車部会	コミバス・コミタク令和7年4月1日ダイヤ改正について 自家用有償旅客運送（甲賀流公共ライドシェア）の実証運行について

## ● 令和6年度 甲賀市コミバス・コミタクの利用実績について

別紙9に「甲賀市コミュニティバス路線別利用実績」を掲載しております。

令和6年4月に運転手不足により大幅な減便を行いました。全体の利用者数は、560,534人で、令和5年度と比較して5,787人増加（前年度比101%）しております。

・コミバス	524,891人・・・6,700人増加（前年度比101.3%）
・コミタク、デマンド	35,643人・・・913人減少（前年度比97.5%）

## ● JR草津線、近江鉄道、信楽高原鐵道、コミバスの利用実績の推移について（～R5）

別紙10に各公共交通機関の利用実績の推移を掲載しております。





草津線利用促進事業



# ICOCAチャージで マルチカバープレゼント キャンペーン


各駅合計 先着**500**名様

JR甲南駅、寺庄駅、甲賀駅、油日駅の自動券売機にて、  
ICOCAに5,000円以上チャージすると、先着500名様に  
**SHINOBIオリジナルマルチカバー**をプレゼント!!

マイクロファイバー素材&周囲にファスナー付で傘やペットボトルカバーにもなる便利グッズです!

忍者の日

実施期間

令和7年**2月22日(土)**～**なくなり次第終了**

モバイル  
ICOCAに  
対応!

STEP 1.

JR甲南駅、寺庄駅、甲賀駅、油日駅の自動券売機にて、  
ICOCAに5,000円以上チャージ

※各駅とも専用の駐車場はありませんので、JR草津線等をご利用ください。



STEP 2.

券売機で領収書を発行し、  
駅窓口で係員に提示(チャージ当日のものに限る)

STEP 3.

領収書の内容(5,000円以上チャージ)を係員が確認した後、  
引き替えにマルチカバーを進呈

※商品の引き渡しは、上記4駅の窓口営業時間内(9:00～17:00)に限ります。

※マルチカバーは、合計で500個、なくなり次第終了となります。

※JR甲南駅、寺庄駅、甲賀駅、油日駅の4駅以外でチャージされても本キャンペーンの対象となりません。

※他のお客様対応等の状況によって、お待ちいただく場合がありますのでご了承ください。

問い合わせ先



甲賀市地域公共交通活性化協議会事務局(甲賀市公共交通推進課内)

受付時間 8:30～17:15(土日祝を除く)

TEL 0748-69-2215

主催: 甲賀市地 12 公共交通活性化協議会



心ばない! クリプトニンジャ 咲耶 × KOKA CITY

★スタンプラリー



©CryptoAnime Labs/「クリプトニンジャ咲耶」製作委員会

開催期間

令和6年10月12日(土) ~ 令和7年1月31日(金)

JR草津線、信楽高原鐵道に乗って  
咲耶と仲間のスタンプを集めよう!

スタンプを集めて、  
各駅でキャラクターと記念写真を撮ろう!



スタンプ・台紙  
設置駅

JR草津線 貴生川駅 甲南駅 寺庄駅 甲賀駅 油日駅  
信楽高原鐵道 信楽駅



景品交換

6つのスタンプが集まったら **JR甲賀駅** でオリジナルステッカーと交換!  
さらに、先着 600 名さまには、咲耶オリジナルグッズをプレゼント! (非売品)

● 景品交換時間: 9時から19時 (JR甲賀駅のみ)

アクリルキーホルダー



手拭い



～忍術修行を極めて  
甲賀駅から油日駅まで密書を運べ～

# 忍者電車の密書ミッション

## 忍者でGO!



甲賀五十三家おもてなし忍者隊が  
みんなを待っているでござる!

参加  
無料!

2025年3月29日(土)・30日(日)

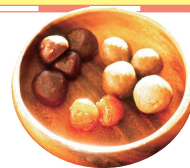
／甲賀五十三家おもてなし忍者隊からの極秘任務／

【開催時間】9:30～15:30

甲  
賀  
駅

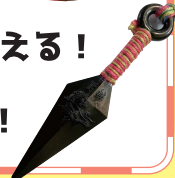
甲賀流兵糧丸作り

忍者がミッションに行くときに持って行った  
「兵糧丸(ひょうろうがん)」が作れる!



甲賀流手裏剣道場

5枚中3枚刺さったら「忍者めし(グミ)」がもらえる!



甲賀流苦無づくり

忍者が使ったオリジナル苦無(くない)を作ろう!

【開催時間】  
1回目：9:30 甲賀駅集合 ⇨ 12:30 甲賀駅解散  
2回目：12:30 甲賀駅集合 ⇨ 15:30 甲賀駅解散

密書おとどけ&忍術修行ミッション(定員20名先着順)

甲賀駅で密書を作成し、忍者衣装を着て油日駅にいる忍者へ届けよう!

密書を届けると忍者からの忍術修行が待っているかも?

成功すると褒美がもらえる!

※甲賀駅から油日駅までの電車賃は、参加者の方でご負担ください。

※ご参加には事前の申込が必要です。QRコードよりお申し込みください。

※小学生以上の方がお申し込みいただけます。

※甲賀駅周辺には駐車場がありませんので、JR草津線に乗ってお越しください。

貴生川・甲南・寺庄・油日の各駅前には有料の一時預り駐車場があります。(台数に制限あり)



甲賀駅 ⇄ 油日駅

企画・内容に関する問い合わせ先(運営者)  
株式会社 Ninjack メール yabumi@ninjack.co.jp

その他問い合わせ先(主催者)  
甲賀市地域公共交通活性化協議会(甲賀市公共交通推進課内)  
電話 0748-69-2215 平日 9:00-17:00 まで

北口

甲賀駅

JR草津線

南口

忍者でGO!  
会場

MAP



## お知らせ

コミバス運行 / 株式会社シガ・エーエージェントシステム(66-1251)

滋賀バス株式会社(72-5611)

公共ライドシェア運行 / 株式会社シガ・エーエージェントシステム(66-1251)

その他問合せ / 甲賀市公共交通推進課(69-2215)

令和7年3月14日

## 2025.4.1 甲賀市コミバス・コミタクダイヤ改正概要

甲賀市コミュニティバス・コミュニティタクシーをご利用いただきありがとうございます。

さて、本年につきましても、4月1日にダイヤ改正を実施いたします。

お客様や市民の皆様からいただいたご意見やご要望等をふまえ、路線の見直しや予約制運行への移行を行うほか、運転手の労働基準に関する法改正および深刻な運転手不足への対応として、小中学生の通学で利用する便を確保したうえで、やむを得ず、利用状況に応じて運行本数の見直しや時刻の変更を行います。

ダイヤ改正にご理解ご協力をお願いいたしますとともに、ご利用の際には十分ご注意くださいようお願いいたします。

## ○事業者を取り巻く現状について

## 慢性的な運転手不足

運転手の高齢化、離職 → 新規採用が必要

全産業で働き手の奪い合いが生じており、若年層の採用が難しい状況

そのため、絶対的に運転手が不足しており、現在の運行を維持することが難しい状況

## バス運転手の労働基準の改正

1日の休息時間：R6.4.1より、連続8時間 → 連続11時間（拘束時間の目安が13時間 例：6:00～19:00など）

※早朝～夜まで運転手1名で運行できない → 早朝や夜便の見直しが必要

## 運送収支の悪化

少子高齢化等による運賃収入の減少、物価高騰・労働環境の見直し等による運行経費の増加 → 運送収支が悪化  
市が運行補助金として運行事業者に支援しているが年々増加

→ 市が支出する支援額はR5年度で約3.5億円（H27年度比+約1億円）

## ○主な改正内容 路線名・便番号については、R6年度（今年度）のダイヤで記載しています

## 路線の新設・運行区間の見直し

お客様や地域等のご意見や利用状況を勘案しながら、利便性向上を図ります。

## ①通学や通勤、通院や買物の利便性向上のため、運行区間の延伸（または変更）や増便を実施します。

地域	路線名		概要
水口	A2	広野台線	広野台方面－甲賀病院間を増便
			工業団地を経由する便の時刻を変更
			「宇田東」を新設（コミバスのみ利用可）
土山	B1	土山本線	【新設】（上り）貴生川駅9:10発→田村神社行 を新設 近江土山17:10発→大河原行 を新設 【変更】（共通）全体的に、J R 貴生川駅でのバス待ち時間の短縮や乗換時間の調整により接続を改善 （下り7便）田村神社8:10発→甲賀病院行 を 貴生川駅まで延伸運行
		甲賀流公共ライドシェア	土山全域を移動できる「予約制乗合交通」を導入
甲南	E1	希望ヶ丘・水口線	9時台の貴生川駅発着1往復、甲賀病院10:35発貴生川駅行を増便
	E2	環状線	1・2便の時刻を変更
信楽	F1	朝宮線	ニュータウンを経由する本数を増便
	F2	田代・畑・陶芸の森巡回線	信楽駅10:55発～陶芸の森11:00着～信楽駅11:10着を増便
	F4	雲井国道線	往路1便の運行ルートを変更します。
			「小畑」を新設（デマンド利用可）

## ②利便性向上のため、デマンドの運行本数を増便し乗降箇所を新設します。

地域	路線名	概要
水口	みなくちデマンド	北部エリアで「中畑」を新設、往路運行本数を増便
甲賀	さやまデマンド	「寺庄駅」・「甲南病院」を新設し、運行本数を増便
	おおはらデマンド	朝時間帯等において増便
	あぶらひデマンド	朝時間帯等において増便
甲南	コミタク甲南（北）エリア	「かえで会館」「宝木区駐車場」「森尻地藏堂」「矢川神社」を新設
信楽	たしろはたデマンド	信楽駅～陶芸の森間を運行する便を増便

## 廃止・減便となる路線等

労働基準改正および運転手不足に対応するため、やむを得ず運行本数の見直し等を行います。

## ①廃止する路線

地域	路線名	概要
水口		「かふかの丘東」を廃止（コミタクのみ利用可）
土山	B3 南草津土山線	定期的な通学利用がないため廃止
	B4 大河原線	利用者が少ないため廃止
	B7 山内巡回線	利用者が少ないため廃止
	おおのデマンド	利用者が少ないため廃止
	コミタク土山エリア	
甲南	E4 甲南工業団地線	利用が少ないため廃止（コミタクで代替可）

※1 廃止する「大河原線・山内巡回線・おおのデマンド・コミタク土山エリア」の運行エリアは「公共ライドシェア」が運行します。

※2 「末田・大野小学校線」は、公共ライドシェアに移行しますが、今年度と同様、通学にご利用いただけます。

## ②減便する主な路線 … 朝夕の便のほか、利用状況に応じて減便します

地域	路線名	概要
水口	A3 和野・中畑線	利用が少ない便を廃止
土山	B1 土山本線 (貴生川～田村神社間)	・甲賀病院直通便を廃止（貴生川駅発着便で、2往復甲賀病院を経由します。） ・貴生川駅発着の減便 【上り】 3 1 便 【下り】 2・2 1・3 4 便
	土山本線 (近江土山～大河原間)	・通学で利用する便以外の利用が少ない便を廃止
甲賀	C2 佐山線	利用者が少ない便を廃止
信楽	F1 朝宮線	利用者が少ない便を廃止
	F4 雲井国道線	利用者が少ない便を廃止

## その他お知らせ

## ①コミバス・コミタク・信楽高原鐵道にキャッシュレス対応のデジタル定期券を導入しています。

専用のアプリにて購入（キャッシュレスに対応）し、スマホの画面を提示することで、通常の定期券のように乗降できます。

## ②スマホでコミバスの現在位置や各バス停の時刻が確認できます。

ホームページから専用のサイトにアクセスすることで、走行位置を確認できます。（一部未対応車両あり）

- ・R7時刻表については、市ホームページにて公開しています。（PDFデータ）
- ・冊子版については、3月25日ごろから市役所・地域市民センター・主要駅・バス車内等で配布します。

是非ご利用ください！



# 予約制のりあい交通 甲賀流公共ライドシェア

## 4/1～第2期実証運行開始！ in 土山

### ■ 運行時間

平日8:30～17:30 土日祝9:00～16:00  
※大野エリアのみ7:30～ (但し、1/1～3は運休)

### ■ 利用方法

乗車希望時刻の1時間前までに電話で予約

予約先 ➡ 080-1177-7464

### ■ 利用料金

同じエリア内 250円 (小学生以下は130円)  
隣のエリア間 500円 (小学生以下は250円)  
大野⇄山内・鮎河エリア間 750円  
(小学生以下は380円)

※1 近江土山・土山地域市民センターは、共通乗降箇所として、どのエリアからでも250円で利用できます。

※2 コミバスの「通学定期券」、「回数券」は利用できませんが、コミバス無料乗車券は利用できません。

### ⚠ 利用上の注意

- ・予約状況により、乗合やご希望の時刻に予約できないことがあります。
- ・道路状況により、到着時間が前後する場合があります。

運行主体

甲賀市建設部公共交通推進課  
TEL:0748-69-2215(平日9時-17時)

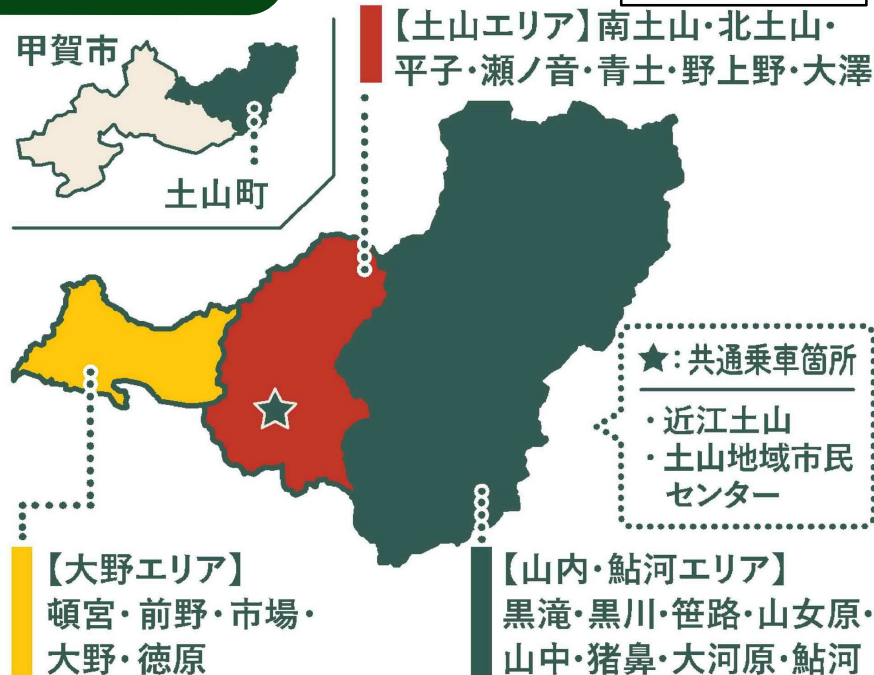
予約・運行状況について

(株)シガ・エージェントシステム  
TEL:080-1177-7464(8時-17時)



# 別紙5

## 運行エリア



## 乗降が可能な場所について

例

自宅近くの  
●●集会所  
など

▲▲▲  
スーパー  
など

以下の施設など、安全に乗り降りできる場所でご利用できます。

公的施設	市民センター・学校・コミセン・地域の集会所など
商業施設等	スーパー・ドラッグストア・銀行・JA など
医療機関	クリニック・歯科など

詳しくは、初回予約時にお気軽にご相談下さい！

## Step1

初回予約時に以下の必要事項を伝えます。

(事前に電話もしくはFAX(66-1300)でお伝えいただくこともできます)

### 【必要事項】

- ①氏名 ②電話番号 ③携帯電話番号
- ④住所 ⑤利用予定の施設名

## Step2

利用の1時間前までに電話で予約します。

予約電話番号  
(シガ・エージェント)

**080-1177-7464**

《予約受付時間》8:00-17:00

### 【予約内容】

- ①氏名 ②携帯電話番号
- ③利用時間 ④利用区間

7・8時台の便は前日17時までにご予約下さい！

予約をお願いします！



## 予約可能時間

※8時台は8時30分から、17時台は17時30分までの運行となります。

出発時間\エリア	大野エリア	土山エリア	山内・鮎河エリア
7時台	●7:30出発のみ	—	—
8時台※	●8:30出発から		
9時台	●	●	●
10時台	●	●	●
11時台	●	●	●
12時台	●	●	●
13時台	●	●	●
14時台	●	●	●
15時台	●	●	●
16時台	●	●	●
17時台※	●17:30到着まで		

## 運行する日

- …全日運行
- …平日のみ運行
- …大野小学校の休校日は運休





# 甲賀市公共交通の歩み



2024 **10.1** (火) - **12.20** (金)

鉄道3路線、14駅を有する「鉄道のまち 甲賀市」。  
市民のみなさまの人生とともに今まで歩んできました。  
その歴史を未来につなぐため、今こそ大切にしたい・・・

**展示場所：信楽高原鐵道 信楽駅**

**JR草津線 甲賀駅・油日駅**

**近江鐵道 水口駅・水口石橋駅・水口城南駅**

**甲賀市コミバス 甲賀市役所前 (9. 29～)・近江土山**

主催：信楽高原鐵道利用促進協議会

後援：甲賀市地域公共交通活性化協議会





# 市制施行20周年記念 市内鉄道全駅 記念硬券

限定500セット

10.3 2024 販売  
開始!!

販売価格: 1,000円

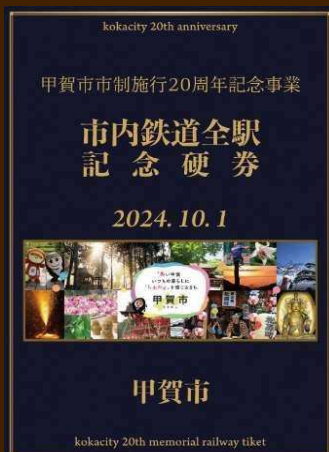
「鉄道のまち」甲賀の市内3鉄道14駅の記念A型硬券15枚がセットになった  
限定記念硬券です。

※本券は、乗車券類ではありませんので、切符や入場券としてご利用いただけません。

販売場所: 信楽高原鐵道信楽駅  
近江鐵道貴生川駅



表面イメージ



中面イメージ



発行: 甲賀市地域公共交通活性化協議会



# コミバス記念1日乗車券

両市1日乗車券 2枚1セット

20<sup>th</sup>  
anniversary



10.1 2024  
火 販売開始

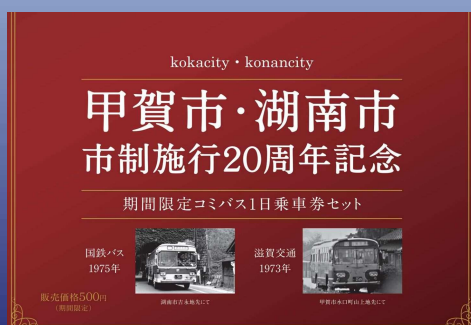
500円(期間限定特別価格)

販売場所：滋賀バス(株)甲西営業所・水口営業所  
(株)シガ・エージェントシステム(近江土山)  
甲賀市役所1階会計課・湖南市役所東庁舎2階都市政策課

両市合計限定1,000セット

【イメージ図】

(表面:A4たて2つ折りサイズ)



(チケットイメージ図)

・甲賀市br



・湖南市br



市制施行20周年を記念し、オリジナルデザインの甲賀市コミバス1日乗車券、湖南市コミバス1日乗車券各1枚(通常：各500円の計1,000円)セットを期間限定価格(500円)で販売します。

発行：滋賀バス(株)、(株)シガ・エージェントシステム、滋賀タクシー(株)

令和6年度 甲賀市コミュニティバス路線別利用実績

単位：人

水口地域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年実績	増減
八田線	8,508	9,366	9,193	8,715	5,211	7,941	9,484	8,584	7,960	7,517	6,936	6,794	96,209	87,623	8,586
広野台線	3,385	3,476	3,385	3,498	2,830	3,328	3,765	3,418	3,430	2,905	2,984	3,355	39,759	51,330	-11,571
田代・畑線	2,808	3,246	3,194	2,856	1,404	2,881	3,467	3,012	3,017	2,830	2,707	3,565	33,987	38,624	-4,637
三雲駅・市役所線	3,715	3,676	3,569	3,624	3,021	3,700	4,048	3,914	3,638	3,498	3,326	3,397	43,126	33,813	9,313
稲木巡回線(廃止)														1,479	-
貴生川・中賀病院線(廃止)														5,093	-
コミタク貴生川エリア	212	219	197	225	226	171	188	184	208	183	178	204	2,395	2,315	80
コミタク杣木エリア	570	582	550	599	647	618	657	611	645	558	511	710	7,258	5,481	1,777
みなくちデマンド	24	17	17	26	27	24	24	16	25	31	24	29	305	17	288
合 計	19,222	20,582	20,105	19,543	13,366	18,663	21,625	19,748	18,943	17,522	16,666	17,054	223,039	225,775	-2,736
前年比	104.5%	103.4%	93.3%	105.1%	91.2%	93.4%	102.2%	97.6%	99.9%	100.8%	95.7%	97.4%	98.8%		

土山地域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年実績	増減
土山本線	14,391	15,901	15,337	14,613	11,120	15,118	16,612	15,884	15,162	14,044	13,477	14,404	176,083	162,488	13,595
大河原線	95	105	94	88	90	77	91	82	85	88	86	84	1,064	1,476	-412
山内巡回線	30	66	27	25	19	78	30	27	35	30	33	30	428	590	-162
大澤・土山北巡回線	527	712	653	465	8	605	679	629	517	582	543	452	6,372	7,297	-925
宋田・大野小巡回線	175	225	210	144	0	200	260	219	202	243	215	193	2,286	2,872	-586
甲南線	393	472	460	273	85	357	433	402	280	361	269	200	3,985	3,718	267
南草津土山線	36	36	48	33	0	31	30	70	57	46	32	30	449	1,009	-560
おおのデマンド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コミタク土山エリア	3	2	6	3	4	2	3	0	0	0	0	0	23	236	-213
合 計	15,650	17,519	17,035	15,644	11,326	16,468	18,138	17,113	16,337	15,394	14,655	15,391	190,670	179,686	10,984
前年比	104.0%	107.0%	101.7%	108.5%	109.7%	103.9%	107.8%	106.3%	106.7%	111.6%	100.4%	107.6%	106.1%		

甲賀地域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年実績	増減
大原線	904	1,301	1,227	830	59	1,140	1,386	1,257	1,014	1,099	1,127	961	12,305	11,285	1,020
油日線	421	514	523	370	0	491	609	538	441	476	503	339	5,225	6,719	-1,494
佐山線	483	602	576	480	104	497	600	526	481	507	501	419	5,776	5,282	494
広域水口線	757	794	720	779	553	750	972	895	960	854	910	844	9,788	17,405	-7,617
甲賀駅・甲賀病院直通便(廃止)														355	-
おおのデマンド	9	6	5	12	12	7	15	16	14	11	13	21	141		141
さやまデマンド	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3		3
あがらひデマンド	34	31	22	21	38	97	109	112	50	36	22	25	597		597
合 計	2,608	3,248	3,073	2,492	766	2,985	3,691	3,344	2,960	2,983	3,076	2,609	33,835	41,046	-7,211
前年比	84.2%	85.8%	74.9%	76.4%	47.3%	76.0%	92.3%	92.8%	82.5%	92.1%	85.0%	81.4%	82.4%		

甲南地域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年実績	増減
池田・中部小学校線	911	1,218	1,124	745	0	1,059	1,237	1,051	870	999	971	801	10,986	10,028	958
環状線	331	351	274	385	290	364	407	424	437	392	335	402	4,392	3,516	876
希望ヶ丘・水口線	2,395	2,369	2,372	2,424	2,268	2,234	2,448	2,454	2,552	1,997	2,204	2,543	28,260	25,870	2,390
甲南工業団地線	16	1	23	11	3	5	0	22	9	4	2	11	107		107
寺庄・甲南・甲賀病院直便(廃止)														1,786	-
コミタク甲南エリア	1,366	1,528	1,608	1,322	766	1,551	1,875	1,784	1,625	1,521	1,503	1,382	17,831	16,420	1,411
合 計	5,019	5,467	5,401	4,887	3,327	5,213	5,967	5,735	5,493	4,913	5,015	5,139	61,576	57,620	3,956
前年比	113.2%	106.3%	100.6%	108.6%	108.2%	99.2%	106.8%	112.9%	110.2%	105.1%	102.3%	111.3%	106.9%		

信楽地域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年実績	増減
朝宮線	1,752	2,148	2,055	1,807	937	2,075	2,252	2,244	1,923	1,906	1,644	1,597	22,340	21,224	1,116
多羅尾線	431	492	464	421	291	518	547	484	538	533	495	539	5,753	7,287	-1,534
田代・畑・陶芸の森巡回線	757	1,107	883	574	193	766	1,007	881	661	699	758	524	8,810	10,022	-1,212
豊井園道線	741	762	677	514	37	748	747	695	647	644	650	559	7,421		
たらおデマンド	48	28	65	64	54	79	57	58	67	55	58	53	686		
たしろはたデマンド	34	53	36	35	36	49	58	60	57	42	30	37	527		
コミタク神山江エリア	334	407	397	443	333	455	461	500	448	386	382	381	4,907	4,757	150
コミタク宮町エリア	76	80	87	114	96	55	83	89	84	54	68	84	7,330	7,330	-6,360
合 計	4,173	5,077	4,664	3,972	1,977	4,745	5,212	5,011	4,425	4,319	4,065	3,774	51,414	50,620	794
前年比	108.5%	99.3%	92.6%	104.8%	92.2%	98.0%	104.6%	106.1%	109.2%	108.5%	95.2%	98.4%	101.6%		

全路線合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年実績	増減
	46,672	51,893	50,278	46,538	30,762	48,074	54,633	50,951	48,158	45,131	43,477	43,967	560,534	554,747	5,787
前年比	104.1%	103.1%	95.2%	104.4%	96.7%	103.9%	103.6%	102.4%	102.7%	104.8%	97.0%	101.1%	101.0%		

コミバス
コミタク・デマンド

	合 計	前年実績	増減	前年比
令和6年度コミバス利用者数	524,891	518,191	6,700	101.3%
令和6年度コミタク・デマンド利用者数	35,643	36,556	-913	97.5%
令和6年度利用者数総合計	560,534	554,747	5,787	101.0%

市内駅利用者数の推移

コ ミ バ ス 等	H29		H30		R1		R2		R3		R4		R5	
	1日あたり	年間	1日あたり	年間	1日あたり	年間	1日あたり	年間	1日あたり	年間	1日あたり	年間	1日あたり	年間
コ ミ バ ス	1,576	575,096	1,487	542,932	1,520	554,861	1,281	467,401	1,365	498,376	1,364	497,752	1,420	518,191
コ ミ タ ク	20	7,361	42	15,337	64	23,371	63	22,881	79	28,654	94	34,241	100	36,556
合計	1,596	582,457	1,530	558,269	1,584	578,232	1,343	490,282	1,444	527,030	1,458	531,993	1,520	554,747

単位:人

近江鉄道	H29		H30		R1		R2		R3		R4		R5	
	1日あたり	年間	1日あたり	年間	1日あたり	年間	1日あたり	年間	1日あたり	年間	1日あたり	年間	1日あたり	年間
水 口 松 尾	57	20,800	56	20,594	64	23,494	44	15,899	49	17,963	43	15,840	46	16,708
水 口	377	137,503	359	131,139	348	126,923	261	95,164	302	110,060	310	113,264	306	111,625
水 口 石 橋	61	22,191	65	23,711	60	21,736	52	18,803	50	18,193	54	19,807	58	21,266
水 口 城 南	544	198,619	544	198,688	533	194,573	391	142,544	387	141,377	435	158,734	471	171,820
貴 生 川	824	300,748	834	304,437	811	296,099	557	203,339	589	215,031	660	240,922	705	257,408
合計	1,863	679,861	1,859	678,569	1,816	662,825	1,303	475,749	1,377	502,624	1,503	548,567	1,586	578,827
SKR	H29		H30		R1		R2		R3		R4		R5	
	1日あたり	年間	1日あたり	年間	1日あたり	年間	1日あたり	年間	1日あたり	年間	1日あたり	年間	1日あたり	年間
貴生川	541	197,563	531	193,852	558	203,608	400	146,173	424	154,630	432	157,787	440	160,508
紫香楽宮跡	65	23,724	64	23,278	67	24,450	48	17,553	51	18,569	52	18,948	53	19,274
雲井	63	23,072	62	22,639	65	23,778	47	17,071	49	18,058	50	18,427	51	18,745
勅旨	30	11,065	30	10,857	31	11,403	22	8,187	24	8,660	24	8,837	25	8,989
玉桂寺	11	3,954	11	3,880	11	4,075	8	2,925	8	3,095	9	3,158	9	3,212
信楽	453	165,219	444	162,115	467	170,274	335	122,242	354	129,314	362	131,954	368	134,230
合計	1,163	424,597	1,141	416,620	1,199	437,588	861	314,150	910	332,326	929	339,111	945	344,958
草津線	H29		H30		R1		R2		R3		R4		R5	
	1日あたり	年間	1日あたり	年間	1日あたり	年間	1日あたり	年間	1日あたり	年間	1日あたり	年間	1日あたり	年間
貴生川	4,179	1,525,335	4,121	1,504,165	4,145	1,512,925	3,098	1,130,770	3,192	1,165,080	3,426	1,250,490	3,570	1,303,050
甲南	857	312,805	856	312,440	807	294,555	626	228,490	642	234,330	693	252,945	714	260,610
寺庄	754	275,210	753	274,845	757	276,305	688	251,120	654	238,710	695	253,675	705	257,325
甲賀	787	287,255	754	275,210	700	255,500	536	195,640	515	187,975	558	203,670	556	202,940
油日	281	102,565	288	105,120	268	97,820	209	76,285	201	73,365	199	72,635	199	72,635
合計	6,858	2,503,170	6,772	2,471,780	6,677	2,437,105	5,157	1,882,305	5,204	1,899,460	5,571	2,033,415	7,057	2,096,560

単位:人

1日あたり利用者数ランキング(R5年度)

	駅名	人数		駅名	人数		
1位	貴生川駅	約4,000人	※	6位	信楽駅	368人	S K R
2位	甲南駅	714人	J R	7位	水口駅	306人	近江鉄道
3位	寺庄駅	705人	J R	8位	油日駅	199人	J R
4位	甲賀駅	556人	J R	9位	水口石橋駅	58人	近江鉄道
5位	水口城南駅	471人	近江鉄道	10位	紫香楽宮跡駅	53人	S K R

※JR,SKR,近江鉄道,コバスの相互利用者を合計した推計値



令和6年度収支決算報告(令和6年5月8日～令和7年5月2日)

収入の部

科目	本年度 予算額(A)	収入額(B)	比較増減 (A-B)		項目	金額
負担金	20,800,000	17,293,865	3,506,135		市負担金	甲賀市負担金(R5繰越事業分)
						甲賀市負担金(R6事業分)
						計(負担金)
諸収入	200,000	801,163	601,163		利用料	シェアサイクル
					利息	決算受取利息
					委託事業	市制20周年記念切符委託販売
						グリーンスローモビリティ実証運行経費
						計(諸収入)
合計	21,000,000	18,095,028	2,904,972			

支出の部

科目	本年度 予算額(A)	支出額(B)	比較増減 (A-B)	事業名	項目	金額
会議費	150,000	92,650	57,350		飲料費等	会議茶代等
					委員謝礼等	対象者7名(内源泉徴収税額2,525円)
						計(会議費)
事務費	50,000	105,190	-55,190		郵送料	会議案内、会議資料等送付
					事務用品	外付けHD、ラミネーター等
					振込手数料	受託業務支払、委員報酬等計30件
						計(事務費)
事業費	2,000,000	1,402,775	597,225		印刷費	コミバスフリー乗車券
						時刻表印刷(エリア版・ポケット版)
						小計
	500,000	495,000	5,000		物品購入費	鉄道のまちこうかオリジナルクリアファイル購入
						鉄道のまちこうかオリジナル付箋購入
						鉄道のまちこうかオリジナル手提げ袋購入
						小計
	12,500,000	12,453,512	46,488	草津線利用 促進事業	委託料	草津線利用促進・利便性向上検討業務委託
						寺庄駅トリックアート等制作業務委託
						草津線利用促進イベント業務委託(忍者でGO)
						利用促進物品デザイン業務委託
						公共交通利用促進業務委託(さくやスタンプラリー)
					印刷費	ICOCAチャージキャンペーン等告知チラシ
					物品購入費	市民交流駅こうか待合ベンチ・パンフレットラック
						ICOCAキャンペーン景品マルチ傘カバー
						シノビトレイン顔出しパネル
						小計
	600,000	595,100	4,900	時刻表 デザイン	委託料	時刻表デザイン校正業務(エリア版・ポケット版)
						小計
	3,000,000	1,293,291	1,706,709	新しい 移動手段の 導入実証	印刷費	甲賀流公共ライドシェア周知チラシ
					物品購入費	甲賀流公共ライドシェア車両マグネット購入
					賃貸料	小型モビリティ(電動トクトック等)レンタル
						グリーンスローモビリティ実証運行車両レンタル
					委託料	甲賀流公共ライドシェア式典会場設営業務
						小計
	300,000	178,550	121,450	モビリティ マネジメント 事業	物品購入費	免許お試し返納事業ノベルティ
						交通環境学習下敷きシール購入
					印刷費	免許お試し返納配布チケット
					負担金	免許お試し返納事業負担金
	1,500,000	1,478,960	21,040	市制20周年 を記念した 利用促進 事業		小計
					賃借料	20周年記念イベント人力車レンタル(車夫付)
					委託料	20周年記念切符作成業務委託
						20周年記念写真展運営業務委託
					備品購入費	市制20周年記念切符購入
	20,400,000	17,897,188	2,502,812			計(事業費)
合計	20,600,000	18,095,028	2,504,972			

## 監 査 書

令和6年度甲賀市地域公共交通活性化協議会の収支決算について、諸帳簿  
および証拠書類を慎重に監査いたしましたところ、いずれも適正なものと認め  
ます。

令和 7 年 5 月 8 日

甲賀市地域公共交通活性化協議会

監査委員

吉川 徹

監査委員

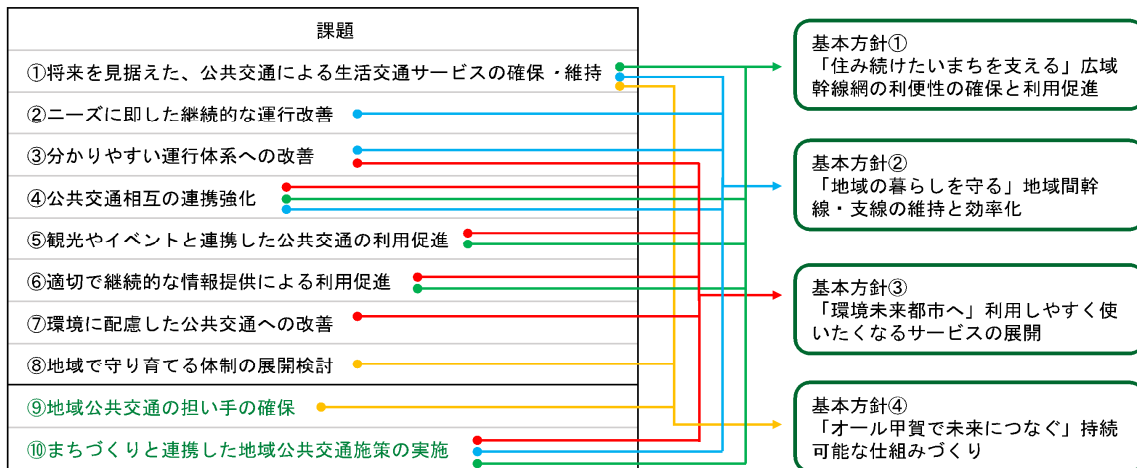
清水 若爾

## 令和7年度事業計画（案）

「甲賀市地域公共交通計画」の基本理念のもと、目標を達成するために抽出した10の課題をクリアするために定めた4つの基本方針に基づく15の事業を実施します。

## 《計画の基本理念》

環境未来都市へ 人と自然の豊かさを創る 甲賀の地域公共交通  
～ 次世代へ みんなで創り 使って 育て 暮らしの一部に ～



基本方針	施策メニュー
1. 「住み続けたいまちを支える」広域幹線網の利便性の確保と利用促進	①まちづくりと連携した交通結節機能の整備
	②JR 草津線の利用促進と利便性向上
	③近江鉄道の利用促進と安全運行の確保
2. 「地域の暮らしを守る」地域間幹線・支線の維持と効率化	④コミバス・コミタクの再編
	⑤信楽高原鐵道の安定経営と安全運行および利便性の確保
	⑥乗り継ぎ環境・接続性の改善
3. 「環境未来都市へ」利用しやすく使いたくなるサービスの展開	⑦人と環境にやさしい車両・施設等の整備
	⑧わかりやすい情報提供の推進
	⑨ICT 等、新技術を活用したスマートモビリティ・マネジメントの推進
	⑩周遊性を高めるための利用促進
	⑪モビリティ・マネジメントの実施
4. 「オール甲賀で未来につなぐ」持続可能な仕組みづくり	⑫関連する団体や関係機関との連携推進
	⑬新たな収益モデルの構築
	⑭地域で守り育てる体制の構築
	⑮地域公共交通の担い手確保



※以下、青字で記載している事業は、協議会で経費支出・実施する事業ではなく、市や他団体が主体となり実施する事業です。

## 基本方針1 「住み続けたいまちを支える」広域幹線網の利便性の確保と利用促進

…主に、JR草津線等の利用促進を図ります。

### ① まちづくりと連携した交通結節機能の整備

貴生川駅をはじめ、主要駅の利便性と快適性を向上する取り組みを実施します。

- ・貴生川駅周辺整備基本構想に基づく社会実験の実施
- ・貴生川駅自由通路の改修 など

### ② JR草津線の利用促進と利便性向上

県や沿線自治体で組織する「滋賀県草津線複線化促進期成同盟会」による取り組み実施や、本市独自にJRと連携しながら、その利用促進や利便性向上、地域活性化に取り組みます。

#### ◆滋賀県草津線複線化促進期成同盟会による主な取り組み

- ・レンタサイクルの配備（貴生川駅～油日駅の各駅）
- ・園児・児童体験学習運賃補助事業
- ・SNS（Instagram・Facebook）による情報発信
- ・車掌による沿線紹介アナウンスの実施
- ・勉強会、意見交換会の実施
- ・草津線沿線企業へ公共交通を利用した通勤の啓発等
- ・こどもICOCA普及促進事業（作成者に2,000円分の図書カードを進呈） など

#### ◆甲賀市独自の取り組み

- ・ICOCA チャージキャンペーン
- ・スタンプラリー等子どもが参加できる周遊型イベントの実施
- ・草津線等を活用した観光周遊事業…観光まちづくり協会と連携し、各種周遊イベントを実施
- ・2次交通の改善
- ・甲賀駅20周年記念事業の実施 など

#### ◆公共交通利用促進補助事業

- ・駅前活性化実証事業…利用促進や駅活性化に資する経費の一部を補助
- ・校外学習等運賃補助事業…各種団体、小中学校へ運賃を補助

### ③ 近江鉄道の利用促進と安全運行の確保

施設整備等に負担金を支出するほか、県や沿線自治体と連携して利用促進や利便性向上、地域活性化に取り組みます。

- ・沿線学校、企業への利用促進啓発、ガチャフェスの実施 など



## 基本方針2 「地域の暮らしを守る」地域間幹線・支線の維持と効率化

…コミバス、コミタクの改善・ダイヤ改正、信楽高原鐵道の利用促進に取り組みます。

### ④ コミバス・コミタクの再編

運転手不足への対応、利用状況に応じた効率化および市民等からの意見を参考に、利便性の向上、ダイヤの改善に取り組みます。

◆ライドシェア等新しい輸送サービスの導入実証 など

### ⑤ 信楽高原鐵道の安定経営と安全運行および利便性の確保

第三種鉄道事業者として、安全を最優先に施設の修繕や改良、信楽高原鐵道株式会社と連携して利用促進に取り組みます。

- ・社会資本整備総合交付金を活用した施設整備
- ・地域と連携した利用促進
- ・近江鐵道と連携した利用促進 など

### ⑥ 乗り継ぎ環境・接続性の改善

利便性、快適性の向上を図るため、駅やバス停の待合環境の整備や JR との接続利便を改善します。

- ・待合ベンチの整備 など

### ⑦ 人と環境にやさしい車両・施設等の整備

老朽化したバス車両の更新、心のバリアフリーとして小学生向けに交通環境学習を実施

## 基本方針3 「環境未来都市へ」利用しやすく使いたくなるサービスの展開

…ICT を活用し利便性を向上します。また、過度な自動車利用からの転換を図り、人と環境にやさしい移動手段を選択するための取り組みを進めます。

### ⑧ わかりやすい情報提供

- ・甲賀市公共交通連携時刻表の作成
- ・運行情報確認サービスの提供、ホームページでの時刻表掲載 など

### ⑨ ICT 等を活用した利便性向上

- ・デジタル定期券システム  
専用の「RYDE PASS」アプリをダウンロードすることで、「定期券」や「フリー乗車券」をスマホ等で購入でき、キャッシュレス決済にも対応
- ・スマートバス停の設置  
道の駅「あいの土山」、「田村神社バス停」に設置 など

## ⑩周遊性を高めるための利用促進

上記利用促進事業を参照

## ⑪モビリティマネジメントの実施

市民の公共交通利用促進への意識を醸成し、「公共交通のまち」を市内外に広くPRするためのグッズ作成や、各種イベント会場でのPRおよび将来を担う子どもたちへの利用促進を実施します。

### ・県と連携した交通環境学習の実施

公共交通に関心を持ち、短期的な利用につなげるとともに、将来的な利用に結び付けることを目的に、小学生を対象として、環境にやさしい公共交通についての学習を実施します。

- ・グリーンスローモビリティの導入実証実験
- ・運転免許自主返納者への割引実証 など

## 基本方針4 「オール甲賀で未来につなぐ」持続可能な仕組みづくり

…不足する運転手の確保、新たな収益モデルの構築を目指すとともに、地域と連携して持続可能な仕組みを構築するための事業を実施します。

## ⑫関係する団体や機関との連携推進

- ・各種同盟会との連携  
滋賀県草津線複線化期成同盟会・関西本線木津亀山間活性化協議会  
びわこ京阪奈線建設期成同盟会・信楽高原鐵道利用促進協議会  
近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会
- ・近隣自治体との広域連携  
いこか連携(伊賀・甲賀・亀山) ・ 甲賀市、湖南市広域連携 など

## ⑬新たな収益モデルの構築

- ・地域間幹線系統国庫補助の申請…土山本線 など

## ⑭地域で守り育てる体制の構築

- ・駅前活性化実証事業補助
- ・持続可能な地域移動支援事業補助金 など

## ⑮地域公共交通の担い手確保

- ・運転手不足の改善のため、免許取得や採用活動に関する経費を補助 など

令和7年度収支予算(案)

収入の部

科目	本年度 予算額(A)	前年度 予算額(B)	比較増減 (A-B)	内訳		
負担金	13,357,000	38,600,000	-25,243,000	市負担金	甲賀市負担金	13,357,000
				小計		13,357,000
補助金	7,000,000	0	7,000,000	国庫支出金	地域間幹線系統補助金	7,000,000
				小計		7,000,000
諸収入	210,000	200,000	-10,000	広告掲載料	8枠(@25,000円)	200,000
				委託事業	市制20周年記念切符委託販売	10,000
				小計		210,000
合計	20,567,000	38,800,000	-18,233,000			

支出の部

科目	本年度 予算額(A)	前年度 予算額(B)	比較増減 (A-B)	内訳		
会議費	120,000	150,000	-30,000	会議茶代等	協議会茶代、室料等	20,000
				委員謝礼等		100,000
				小計		120,000
事務費	47,000	40,000	7,000	郵送料	会議案内、会議資料送付等	10,000
				消耗品費	事務用品	7,000
				振込手数料	受託業務支払、委員報酬振込	30,000
				小計		47,000
事業費	20,400,000	38,610,000	-18,210,000	情報発信事業	フリー乗車券、時刻表作成、広告掲載等	3,000,000
				コミバス運行事業	コミバス運行事業補助金	7,000,000
				利用促進事業	利用促進・啓発物品購入等	800,000
					利用促進事業委託(利用促進イベント等)	5,000,000
					校外学習等運賃補助金	1,000,000
					甲賀駅20周年事業経費	1,000,000
					新しい移動手段の導入実証事業	1,000,000
					モビリティマネジメント推進事業	800,000
					ICT関連事業運営経費 (デジタル定期券・デマンドWEB予約・運行情報可視化サービス等)	800,000
				小計		20,400,000
合計	20,567,000	38,800,000	-18,233,000			



## 地域間幹線系統国庫補助金の令和8年度申請および令和7年度前期の状況報告について

### 1 令和8年度計画認定申請について

本市コミバスは経費の増大や利用人数の減少により、その経営が厳しい状況であり、本市から事業者へ支出する補助金額についても増加が続いております。

そのため、新しい収入の獲得が課題となっており、昨年度に「令和7年度（令和6年10月～令和7年9月分）地域間幹線系統国庫補助金」の認定を目指し、計画認定申請いたしました。

つきましては、令和8年度（令和7年10月～令和8年9月分）についても下記のとおり申請することで進めております。

なお、申請内容について、現在、運行事業者や関係部局との調整を進めておりますので、申請額等に軽微な変更が生じる可能性があります。事務局一任で申請をさせていただきたいと考えております。

#### 申請概要

##### ① 申請する補助事業名称

地域公共交通確保維持事業「令和8年度地域間幹線系統確保維持費国庫補助金」

##### ② 申請する路線（系統）

土山本線・・・田村神社（甲賀市土山町）－貴生川駅（甲賀市水口町）

#### 同一補助対象系統として取り扱う運行系統の範囲について

本補助金の交付要領に、申請路線に複数の運行系統がある場合、主系統とその他の系統を比較し、地域の実情に応じ同一の系統とみなすと協議会が認めるときは、同一の補助系統として取り扱うことができますので、以下のとおり同一系統とみなし、補助申請します。

・補助要綱の基準…異なる区間の延長が主系統の全キロ程の10%以内（ $18.2\text{km} \times 10\% = 1.82\text{km}$ ）  
→ 協議会で認める場合…主系統の全キロ程の20%以内（ $18.2\text{km} \times 20\% = 3.64\text{km}$ ）

（主系統）

貴生川駅 — （主な経由地：甲賀市役所・新水口・近江土山） — 田村神社 18.2km

（その他系統）

1 貴生川駅 — （主な経由地：水口東高校【異経路区間延長：3.0km】） — 田村神社 19.1km

2 貴生川駅 — （区間急行【異経路区間延長：3.0km】） — 田村神社 15.8km

3 貴生川駅 — （主な経由地：甲賀病院【異経路区間延長：3.6km】） — 田村神社 20.6km

##### ③ 申請期間

令和8年度分・・・令和7年10月1日～令和8年9月30日

④ 申請する路線(系統)の維持に要する補助見込等

・欠損費用見込 運送収入 - 経常費用 = 24,000千円

国庫補助金見込 8,000 千円

⑤ 運行状況

- ・計画平均輸送密度 3.7人/1往復あたり
- ・計画輸送量 64.3人(計画運行本数34便/日)
- ・運行事業者 (株)シガ・エージェントシステム

⑥ 申請書

別冊資料1のとおり

## 2 令和7年度前期の状況報告について

昨年度に初めて令和7年度(令和6年10月～令和7年9月分)地域間幹線系統国庫補助金の計画認定申請いたしましたが、その運行状況について報告します。

### 運行状況

① 補助事業名称

地域公共交通確保維持事業「令和7年度地域間幹線系統確保維持費国庫補助金」

② 申請内容

・運行系統

土山本線・・・田村神社(甲賀市土山町)―貴生川駅(甲賀市水口町)

(主系統)

貴生川駅―(主な経由地:甲賀市役所・新水口・近江土山)―田村神社 18.2km

(その他系統)

1 貴生川駅―(主な経由地:水口東高校【異経路区間延長:3.0km】)―田村神社 19.1km

2 貴生川駅―(区間急行【異経路区間延長:3.0km】)―田村神社 15.8km

※なお、R7.4.1のダイヤ改正により路線を再編しましたので、その他系統については以下のとおりとなります。

(その他系統)

1 貴生川駅―(主な経由地:水口東高校【異経路区間延長:3.0km】)―田村神社 19.1km

2 貴生川駅―(区間急行【異経路区間延長:3.0km】)―田村神社 15.8km

**3 貴生川駅―(主な経由地:甲賀病院【異経路区間延長:3.6km】)―田村神社 20.6km**

・補助対象期間 令和6年10月1日～令和7年9月30日

③ 申請する路線(系統)の維持に要する補助見込等

・欠損費用見込 運送収入 - 経常費用 = 24,000千円

国庫補助金見込 7,800 千円

#### ④ 運行状況

(R7.4.1～)

- ・計画平均輸送密度 3.7人／1往復あたり
- ・計画輸送量 58.8人(計画運行本数34便/日)
- ・運行事業者 (株)シガ・エージェントシステム

※なお、R7.4.1 のダイヤ改正により路線を再編しましたので、滋賀バス(株)については運行回数が補助要件を満たさないことから、同社分の申請を取り下げました。

(参考:R7.3.31 まで)

- ・計画平均輸送密度  
(シガ・エージェントシステム運行便) 1.2人／1往復あたり  
(滋賀バス運行便) 2.2人／1往復あたり
- ・計画輸送量 58.8人(計画運行本数34便/日)
- ・運行事業者 (株)シガ・エージェントシステム・滋賀バス(株)

#### ⑤ 利用促進等の取り組みについて

別冊資料 2のとおり

様式第1－1（日本産業規格A列4番）

甲地公協第 号

令和 7年 6月 日

国土交通大臣 殿

滋賀県甲賀市水口町水口6053番地

甲賀市地域公共交通活性化協議会

会 長 伴 孝 史

地域公共交通計画認定申請書

地域公共交通計画のうち、地域公共交通確保維持事業に係る計画を別紙のとおり  
定めたので、関係書類を添えて申請します。

※本申請書に、記載すべき事項を全て記した地域公共交通計画を添付すること。

【担当】

甲賀市地域公共交通活性化協議会事務局  
（甲賀市建設部公共交通推進課内）

担当：田中、中村

TEL. 0748-69-2215 FAX. 0748-63-4601

Mail. koka10406000@city.koka.lg.jp



令和 7 年 6 月 日

（名称）甲賀市地域公共交通活性化協議会

## 1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

甲賀市コミバスの輸送実績は、令和2年度にコロナ禍で減少したものの、その後は回復傾向にある。しかし、慢性的な運転手不足に加え、2024年問題への対応、また昨今の原油価格・物価高騰の影響による経費の増大により、運行事業者を取り巻く環境はさらに厳しい状況である。しかし、その一方で高齢化や免許返納の影響により、市民のニーズは高度化・多様化している状況である。

特に、コミバス「土山本線」は、鉄道のない旧土山町から本市の中心である旧水口町へ通じる唯一の幹線交通として、車を運転できない高齢者や学生等を中心に、生活に必要不可欠な交通として事業の継続が求められている。また、この幹線交通に通じるコミュニティバス等が支線の役割を果たしている。

このため、地域公共交通確保維持事業により、ネットワークの軸となる「土山本線」を確保・維持することで、他の支線等との接続を図り、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。

## 2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

## (1) 事業の目標

- ・土山本線の利用者数をR7年度実績と比較して1%増加させる。
- ・土山本線の収支率をR7年度実績と比較して1%増加させる。
- ・土山本線の自治体補助額をR7年度実績と比較して減少させる。

※甲賀市地域公共交通計画 P40、41 参照

## (2) 事業の効果

土山本線を維持することにより、交通結節点である旧水口町の貴生川駅や市中心部の旧水口町へ向かう地域の通学・通勤を担う重要な役割を果たしており、そのため、鉄道がない旧土山町住民生活の必要不可欠な移動手段が確保される。また、幹線・支線のネットワークの連携により、効率的な運行体系が実現できる。さらには、外出促進・地域活性化にもつながる。

## 3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

- ・利用者数を便ごとに集計することによる、利用状況に応じた系統や便数、運行ダイヤの見直し（事業者、甲賀市）
- ・運行状況を可視化できるバスロケーションシステムやデジタル定期券、G T F Sへの対応など、I C Tを活用した利便性向上
- ・市内学校にモビリティマネジメントを行う。（滋賀県、甲賀市、事業者）  
（甲賀市地域公共交通計画 P 4 2 ～ 参照）

## 4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者

## 【系統の概要】

路線	土山本線（田村神社―貴生川駅間）		
位置	幹線		
づけ	（ 3 . 3 P 3 8 「図 将来の地域公共交通ネットワークのイメージ図」のとおり）		
役割	合併前の旧土山町と旧水口町を結ぶ主に国道 1 号を運行する路線である。 旧土山町は国道 1 号を中心に住居地が立地し、交通結節点である旧水口町の貴生川駅 や市中心部の旧水口町へ向かう地域の通学・通勤を担う。		
	（ 3 . 3 P 3 8 「図 将来の地域公共交通ネットワークのイメージ図」のとおり）		
事業の必 要性	交通結節点である旧水口町の貴生川駅や市中心部の旧水口町へ向かう地域の通学・通 勤を担う重要な役割を果たしており、鉄道がない旧土山町住民生活の生命線として存 続させる必要がある。しかし、自治体や事業者の運営努力だけでは路線の維持が難し く、地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する必要がある。		
目標	（ 3 . 4 計画の目標 のとおり）		
事業概要			
実施主体	甲賀市  （運行は、滋賀バス株式会社(SB)、株式会社シガ・エージェンツシステム(SAS)に委託）		
運行態様	路線定期運行		
事業区分	道路運送法第 4 条 一般乗合旅客自動車運送事業		
車両	大型バス・中型バス・小型バス		
運賃	大人 2 5 0 円（均一運賃）		
資金調達 （予定）	国庫補助金（地域間幹線系統補助金） 滋賀県補助金・甲賀市補助金		

## 【運行概要】(R7. 4. 1 現在)

名称	経路			運行会社	運行日	運行回数	運行時間帯	
	起点	経由	終点				始発	終着
幹線								
土山本線	貴生川駅	新水口	田村神社	SAS・SB	毎日	12.5 回	6:09	21:09
		水口東高				5.5 回	7:10	20:07
		区間急行		SAS		0.5 回	6:55	7:25
		甲賀病院				2.5 回	8:10	15:13

5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額
<p>運行経費：57,000 千円・・・①          運賃収入：19,000 千円・・・②          欠損額：38,000 千円・・・③＝①－②          うち、地域間幹線系統補助見込：8,000 千円          甲賀市負担額：30,000 千円</p>
6. 2. の目標・効果の評価手法及び測定方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定量的な目標に関しては、原則、運行事業者や市から提供する資料を基に測定する。その他、必要に応じて、車両に設置した乗降センサによる人数カウントやOD調査を実施する。</li> <li>・ 定性的な目標に関しては、利用者アンケート（車内聞き取りアンケート等）や住民ヒアリング（住民懇談会実施等）を実施する。</li> </ul>
7. 別表 1 の補助対象事業の基準木ただし書に基づき、協議会が平日 1 日当たりの運行回数が 3 回以上で足りると認めた系統の概要 【地域間幹線系統のみ】
※該当なし
8. 別表 1 の補助対象事業の基準二に基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧 【地域間幹線系統のみ】
※該当なし
9. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項 【地域間幹線系統のみ】
別紙による
10. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要 【地域内フィーダー系統のみ】
※該当なし
11. 車両の取得に係る目的・必要性 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし

12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果 <b>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>
（１）事業の目標
※該当なし
（２）事業の効果
※該当なし
13 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の総額、負担者とその負担額 <b>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>
※該当なし
14. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策） <b>【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>
※該当なし
15. 貨客混載の導入に係る目的・必要性 <b>【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>
※該当なし
16. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果 <b>【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>
（１）事業の目標
※該当なし
（２）事業の効果
※該当なし



## 17. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

## 18. 協議会の開催状況と主な議論

- ・ 令和6年12月16日（R6 第3回）  
ダイヤ改正の概要について合意を得た。
- ・ 令和7年 2月 5日（第1回自動車部会）  
前回の協議会でいただいた意見を踏まえ修正したダイヤ改正案およびそれに伴う地域間幹線系統確保維持事業の軽微な変更として合意を得た。
- ・ 令和7年5月19日（R7 第1回）  
本事業の概要および地域公共交通計画の変更内容、申請書類について説明し、合意を得た。

## 19. 利用者等の意見の反映状況

土山本線の主要バス停である「近江土山」において、アンケート調査や個別ヒアリング調査等の結果、本系統の維持存続、ICTによる利便向上について求める声が特に強かったため、そちらに重点を置いた計画とした。  
また、幹線系統の利用促進のため、公共ライドシェアを導入した。

## 【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 滋賀県甲賀市水口町水口6053

(所 属) 甲賀市地域公共交通活性化協議会事務局

(氏 名) 中 村 正 太

(電 話) 0748-69-2215

(e-mail) koka10406000@city.koka.lg.jp

注意： 本様式はあくまで参考であり、補助要綱の要件を満たすものであれば、この様式によらなくても差し支えありません。

実際の計画作成に当たっては補助要綱等を踏まえて作成をお願いいたします。

各記載項目について、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画を作成している場合には、当該計画から該当部分を転記したり、別添〇〇計画△節のとおり、等として引用したりすることも可能です。（ただし、上記2.・3.については、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画に定める目標、当該目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項との整合性を図るようにして下さい。また、地域公共交通計画全体として、協議会における協議が整った上で提出される必要があります）。

※該当のない項目は削除せず、「該当なし」と記載して下さい。

## ①地域間幹線系統の利用者増・収入増・効率化等に直接的に寄与する取組

取組項目	該当路線	取組年度	参画主体	取組内容	事業実績	R8年度以降の取組方針
土山地域の持続可能な移動手段構築に向けた検討	土山本線	H6年度～	滋賀県、甲賀市、甲賀市公共交通活性化協議会	「滋賀県地域特性に応じた交通ネットワーク構築事業」の採択を受け、運転手不足などに対応しながら、幹線である土山本線の活性化・利用促進を図るとともに地域の移動手段を維持するため、新しい移動サービスの導入を検討	・地域住民、観光客アンケート ・公共ライドシェアの実証運行 ・グリーンスローモビリティ実証運行 ・実証運行の分析	県と連携し、情報共有しながらフォローアップしていく
土山地域のバス路線再編	土山本線	H6年度～	甲賀市、甲賀市公共交通活性化協議会、㈱シガ・エージェントシステム、滋賀バス㈱	滋賀県と連携して実施した実証運行結果等をふまえて、運転手不足のなか持続可能な交通網を維持するため、利用が少ないバス路線を廃止し、公共ライドシェアの実証運行を検討	幹線と接続する4路線を廃止し、公共ライドシェアの実証運行を実施	実証運行結果を分析しながら、本格導入に向けた検討を行う
乗り継ぎ拠点となるバス停留所の待合環境改善	土山本線	H6年度～	甲賀市、甲賀市公共交通活性化協議会、㈱シガ・エージェントシステム	利用者の利便性向上と利用促進を図るため、雨をしのげる待合所の設置など、待合環境の向上を図る	近江土山・・・運行時刻表示デジタルサイネージの設置 田村神社(上り)・水口西部コミセン(上り)・・・待合所の改修	田村神社(上り)・・・待合所の改修、運行時刻表示デジタルサイネージの設置
一日フリー乗車券の販売	土山本線		甲賀市、甲賀市公共交通活性化協議会、㈱シガ・エージェントシステム、滋賀バス㈱	市内コミバスを1日に限り500円で乗り放題となるフリー乗車券を販売	土山本線全利用者数 ・R6年度下半期 89,500人 (前年同時期比+14%)	引き続き取組実施
デジタル定期券の販売	土山本線	H6年度～	甲賀市、甲賀市公共交通活性化協議会、㈱シガ・エージェントシステム、滋賀バス㈱	専用のスマホアプリにおいてクレジットカード等で定期券を購入可能	土山本線全利用者数 ・R6年度下半期 89,500人 (前年同時期比+14%)	引き続き取組実施
無料乗車券制度の実施	土山本線	H26年度～	甲賀市、㈱シガ・エージェントシステム、滋賀バス㈱	75歳以上の方、障がい者手帳を保持されている方に対し、無料で乗車できる制度を実施	土山地域利用者数 ・R6年度下半期 19,700人 (前年同時期比△2%)	引き続き取組実施
お試し自主返納にかかる1日フリー券の配布	土山本線	R6年度～	滋賀県警、甲賀市、甲賀市公共交通活性化協議会、㈱シガ・エージェントシステム、滋賀バス㈱、信楽高原鉄道㈱	県警が実施する「運転免許お試し自主返納」に合わせて参加者に対し、コミバス・信楽高原鉄道の1日フリー乗車券を配布	15名	引き続き取組実施
地域と連携した利用促進の実施	土山本線	R7年度～	甲賀市、甲賀市公共交通活性化協議会	道の駅「あいの土山」のリニューアルオープンに合わせた利用促進を実施 ・利用者に施設割引券もしくは買い物者にバス片道無料券を配布。	—	新規事業

## ②その他交通ネットワーク全体の活性化や再編・利用促進につながる取組

取組項目	取組年度	参画主体	取組内容	事業実績	R8年度以降の取組方針
地域公共交通計画の策定	R5年度～	甲賀市、甲賀市公共交通活性化協議会	市内の公共交通ネットワークの最適化、再構築を図るため前網形成計画の見直しに合わせて計画策定。	計画の進捗確認	引き続き取組実施
バスロケーション等ICTシステムの活用・導入	R3年度～	甲賀市、甲賀市公共交通活性化協議会、㈱シガ・エージェントシステム、滋賀バス㈱	バス利用者の利便性向上、適切なダイヤ改正、利用者にバス運行情報を見える化するため、ICTを活用した情報発信を実施	バス運行確認システムの導入	引き続き運用を継続

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者（地域間幹線系統）

8年度

都道府県 (市区町村)	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	確保維持事業に要する 国庫補助額 (千円)	特 例 措 置
甲賀市	株式会社シガエーエージェントシステム	(1) 土山本線	8,033.0	
		(3)		
		(4)		
		(5)		
		(6)		
		(7)		
合 計			8,033.0	

表2 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額（地域間幹線系統用）

令和 8 年度

事業者名 株式会社シガ・エージェンツシステム

1. 申請事業者の概要

補助対象期間の 前々年度(基準期間※) の損益状況	乗合バス事業						
	営業収益	18,841 千円	営業外収益	9,065 千円	経常収益(イ)	27,906 千円	
	営業費用	128,108 千円	営業外費用	8,302 千円	経常費用(ロ)	136,410 千円	
	営業損益	△ 109,267 千円	営業外損益	763 千円	経常損益	△ 108,504 千円	
				経常収支率		20.46 %	
補助対象期間の 前々年度の 実車走行キロ(ハ)	km						
	479,439.3						
基準期間の前年度の 損益状況	乗合バス事業						
	営業収益	18,715 千円	営業外収益	3,311 千円	経常収益(イ')	22,026 千円	
	営業費用	122,871 千円	営業外費用	0 千円	経常費用(ロ')	122,871 千円	
	営業損益	△ 104,156 千円	営業外損益	3,311 千円	経常損益	△ 100,845 千円	
				経常収支率		17.93 %	
基準期間の前年度の 実車走行キロ(ハ')	km						
	489,122.1						
基準期間の前々年度の 損益状況	乗合バス事業						
	営業収益	19,211 千円	営業外収益	238 千円	経常収益(イ'')	19,449 千円	
	営業費用	116,148 千円	営業外費用	0 千円	経常費用(ロ'')	116,148 千円	
	営業損益	△ 96,937 千円	営業外損益	238 千円	経常損益	△ 96,699 千円	
				経常収支率		16.75 %	
基準期間の前々年度の 実車走行キロ(ハ'')	km						
	490,990.2						

(補助対象事業者の「基準期間※を最終年度とする連続した過去3年間」における実車走行キロ当たり経常費用等)

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用 (基準期間の前々年度) $\text{ロ}'' \div \text{ハ}'' = \text{a}$	補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用 (基準期間の前年度) $\text{ロ} \div \text{ハ} = \text{b}$	補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用 (基準期間) $\text{ロ} \div \text{ハ} = \text{c}$
北近畿	236 円 55 銭 円 銭	251 円 20 銭 円 銭	284 円 51 銭 円 銭

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

2. キロ当たり補助対象経常費用及び経常収益

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用 (a+b+c)/3 = ニ 円 銭	地域キロ当たり標準経常費用 ホ 円 銭	キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 へ 円 銭	キロ当たり経常費用 の差 ニ－ヘ = ケ 円 銭	キロ当たり経常収益 イ÷ハ = ト 円 銭
北近畿	257 円 42 銭 円 銭	411 円 60 銭 円 銭	257 円 42 銭 円 銭	0 円 0 銭 円 銭	58 円 20 銭 円 銭

3. 旅客運賃の上限変更認可状況

補助ブロック名	認可日	認可を受けた補助対象期間	補助金交付 要綱別 表2(注) 4. の適用 割合 ツ	改定率 コ
		基準期間の 年度	／3	
		基準期間の 年度	／3	
		基準期間の 年度	／3	



4. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

補助ブ ロック 名	申請 番号	特 例 措 置	運行系統			計画運行 回数 ( )	計画平均乗 車密度	計画 輸送量 ①×② ＝③	系統キロ程	地域公共交通連携事業 を実施する区域におけ るキロ程	系統キロ程と地域公共 交通連携事業を実施す る区域におけるキロ程と の比率	補助ブロック外 乗入部分のキロ程	同一補助ブロック 都道府県外乗入 部分のキロ程	他路線との割合 部分に係るキロ程	他路線 との割 合率	補助ブロック 外乗入部分 同一補助ブ ロック都道府 県外乗入部分 及び他路線と の割合部分以 外のキロ程の 比率
			運行 系統 名	主な 経由 地	終点											
北近 畿	1		土山本線	新水口	田原町	643.5 (17.4)	3.7	64.3 人	往 18.2Km 復 18.2Km (平均) 18.2km	(平均)		(平均)	(平均)	(平均)	0	100%
						日		0.0 人								
						日		0.0 人								
						日		0.0 人								
合計			系統						往0.0km 復0.0km 0.0km	往0.0km 復0.0km 0.0km		往0.0km 復0.0km 0.0km	往0.0km 復0.0km 0.0km	往0.0km 復0.0km 0.0km		



(1) 記載要領

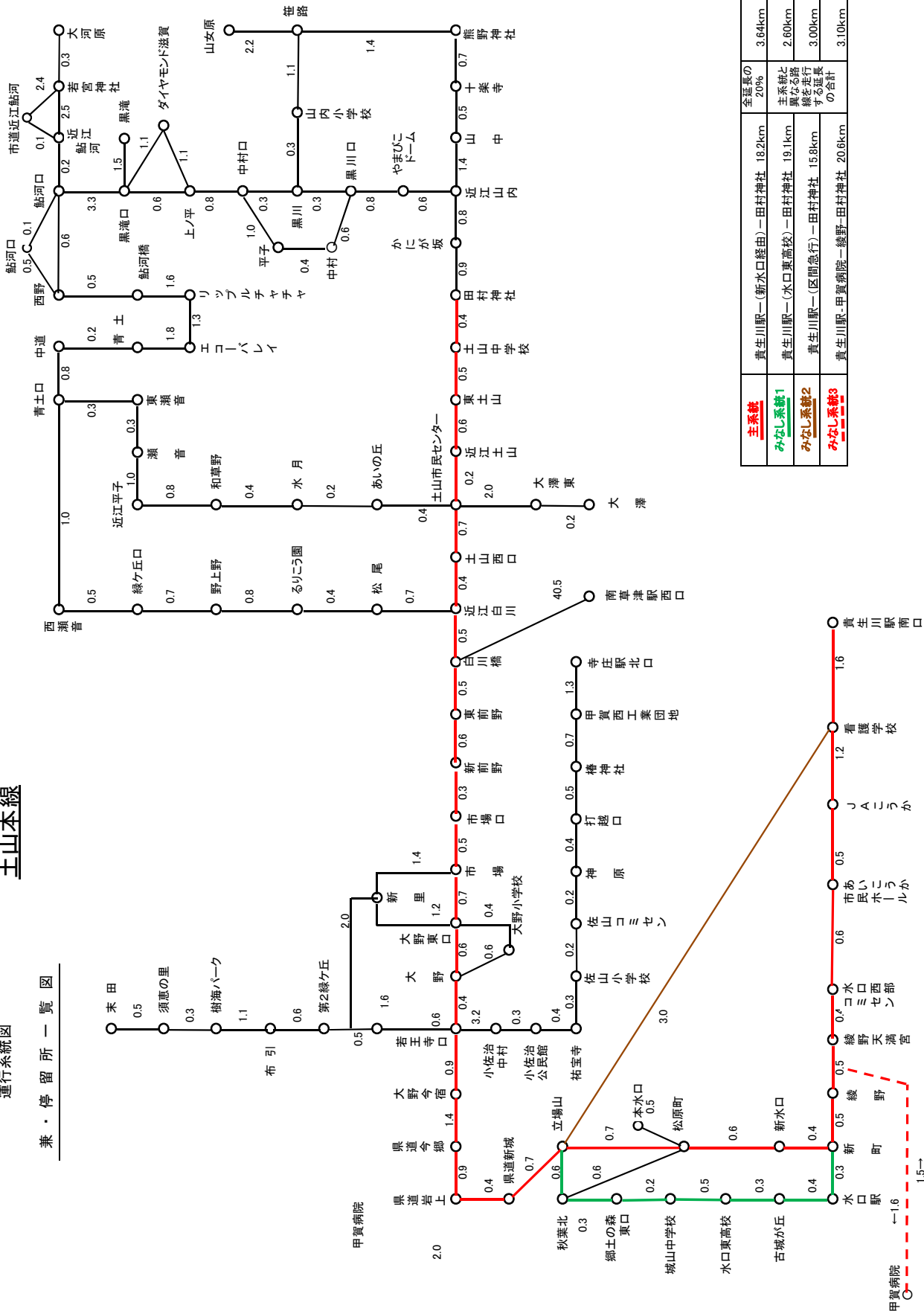
- 1.集合バス事業の収益、実車走行キロロについては、高速バス及び定期観光バス等を除き、費用については、高速バス及び定期観光バス等並びに補助対象期間（補助金交付要綱第2編第1章第3節に係る経常費用を除く）と。
- 2.補助対象事業者の決算期間が補助対象期間（補助金交付要綱第5条で定める期間）と相違している事業者においては、補助対象期間の仮決算を行い、その増益状況（千円未満の端数は切り捨て）を増益状況欄に記載すること。
- 3.補助対象期間（補助金交付要綱第5条で定める期間）中の集合バス事業と他の事業を兼業している場合の関連収益及び費用の配分は、昭和52年5月17日付け自総第338号、自第第151号、自第第55号によること、なお、これにより会計を整理することができない特別の理由があるときは、国土交通大臣に報告し、その承認を求めること。
- 4.「補助対象期間の前々年度（基準期間）の増益状況」の欄、「基準期間の前年度の増益状況」の欄は、消費税相当額を控除した額に記載すること。
- 5.「補助ブロック名」の欄は、補助金交付要綱別表6の名称を記載すること。
- 6.地域キロロ当たり標準経常費用は、補助ブロックを管轄する地方運輸局等が通知した数値によること。
- 7.「認可を受けた補助対象期間」の欄は、認可を受けた日付について、基準期間の「当年度」、「前年度」又は「前々年度」のいずれかに該当するかを記載すること。
- 8.「補助金交付要綱別表2（注）4.の適用割合」欄は、「認可を受けた補助対象期間」が基準期間の「当年度」の場合は「3/3」、「前年度」の場合は「2/3」、「前々年度」の場合は「1/3」をそれぞれ記載すること。
- 9.「改定率」欄は、認可を受けた旅客運賃の上限変更の平均改定率を小数点第2位（第3位以下四捨五入）にて記載すること。
- 10.申請番号は、事業者ごと、系統ごとに一連番号とすること、なお、1系統がなつた以上の補助ブロックにまたがる場合は、その比率にのっとり低い方をカッコ書きの番号とすること。
- 11.「特例措置」の欄は、地域公共交通再編実施計画の認定を受け、特例措置の適用を受けることとなる場合には「1」を、平成29年8月2日改正規則第2条の規定に該当する場合には「2」を、補助金交付要綱別表2-5.ただし書きに該当する場合には「3」を記載する。
- 12.「計画運行回数」の欄には、補助対象期間中の全暦日数における総計画運行回数を記載する。また、カッコ内には1日当り計画運行回数のいずれかを記載する。
- 13.「系統キロロ程」の欄、「地域公共交通再編事業を管轄する区域におけるキロロ程」の欄、「補助ブロック外乗入部分のキロロ程」の欄及び「他路線との競合部分に係るキロロ程」の欄は、小数点第1位（第2位以下切り捨て）まで算出し、往・復のキロロ程が異なる系統については、平均値も記載すること。また、平均値の合計の欄については、往・復の合計の平均値ではなく、各申請系統の往・復の平均値の合計を記載すること。
- 14.「同一補助ブロック都道府県外乗入部分のキロロ程」の欄は、同一補助ブロック内における都道府県外乗入部分のキロロ程を記載することとし、補助ブロックが異なる都道府県が乗入部分は（リ）に記載すること。
- 15.「他路線との競合部分に係るキロロ程」とは、他の運行系統との競合区間の合計が50%以上の生活交通路線であって、当該競合区間の輸送量が1日当たり150人を超える部分のキロロ程のことをいい、当該補助ブロック内区間（系統キロロ程（チ）→補助ブロック外乗入部分のキロロ程（リ））→同一補助ブロック都道府県外乗入部分のキロロ程（ス）に係るキロロ程を記載すること。
- 16.「補助ブロック外乗入部分及び都道府県外乗入部分以外のキロロ程の比率」の欄、「リ」のうち補助ブロック外乗入部分及び同一補助ブロック都道府県外乗入部分以外に係るものをの欄は、「特例措置」の欄に「1」又は「2」を記載した系統のみ記載すること。
- 17.「系統キロロ程と地域公共交通再編事業を実施する区域におけるキロロ程との比率」の欄、「他路線との競合率」の欄、「補助ブロック外乗入部分、都道府県外乗入部分及び他路線との競合部分以外のキロロ程の比率」の欄、「補助ブロック外乗入部分及び都道府県外乗入部分以外のキロロ程の比率」の欄については、%以下第3位（小数点第4位切り捨て）まで算出して記載すること。
- 18.「計画実車走行キロロ」の欄、「補助対象系統のキロロ当たり経常収益」の「実車走行キロロ」の欄は、小数点第1位（第2位以下切り捨て）まで算出して記載すること。
- 19.「計画平均乗車密度が5人未満の路線」の欄は、計画平均乗車密度が5人未満の路線についてのみ記載すること、なお、みなし運行回数とは当該運行系統の計画輸送量を5人で除した数値（端数切り捨て）をいう。
- 20.「補助対象経費」の欄は、（ホ）（計画平均乗車密度が5人未満の路線）に記載がある場合は（ホ）の金額を記載し、記載がない場合は（ツ）の金額を記載する。また、「特例措置」の欄に「1」を記載した系統については、左記の場合の（ホ）の金額又は（ツ）の金額に、（ヅ）の金額から左記の場合の（ホ）の金額又は（ツ）の金額を控除して得た金額に（ク）の比率を乗じて得た金額を加えた金額を記載する。さらに、「特例措置」の欄に「2」を記載した系統については、（ヅ）の金額を記載する（千円未満の端数は切り捨てること）。
- 21.「補助対象系統の実車走行キロロ当たり経常収益」の欄の（ノ）は、基準期間、基準期間の前年度と基準期間におけるキロロ当たり経常収益の金額を平均して算出すること、なお、新設系統で基準期間の実績がない場合は、補助対象経常費用の算込額の11/20に相当する額と都道府県協議会等が算出する経常収益の見込額のうち、いずれかが高い額を記載すること。
- 22.「計画額」の欄は、系統ごとに百円単位（0.5千円）まで記載することとし、合計の千円未満の端数は切り捨てること。
- 23.計算上生じた単位未満の端数は切り捨てること。
- 24.補助対象期間の計画と比較し、翌年度及び翌々年度の計画が同じ若しくは翌日の値により運行回数以外に数値がない場合には、その値を記載することとする。  
（記載例「令和〇年度、令和〇年度については、令和〇年度事業から、土日・祝日の日数による運行回数等の違いを除き、変更がないதாக省略」）

(2) 添付書類

1. 補助対象期間（補助金交付要綱第5条で定める期間）の前々年度（基準期間）に係る所管自動車運送事業等報告予測第2編第2項の「事業報告書」（補助金交付要綱第2編第1章第3節に係る経常費用を除く）及びこれに関連する必要な事項を記載した書類（附属書類）、並びに基準期間の前々年度に係る事業報告書及び関連書類。  
ただし、過去に生活交通確保維持改善計画の認定申請又は補助金交付申請の添付書類として既に提出している場合は、当該書類の添付を省略することができる。
2. 補助対象期間（補助金交付要綱第5条で定める期間）の前々年度（基準期間）に係る様式第1―5の運行系統別輸送実績及び平均乗車密度算定表（補助対象路線に係るものに限る）、並びに基準期間の前年度、基準期間の前々年度に係る様式第1―5。ただし、過去に生活交通確保維持改善計画の認定申請又は補助金交付申請の添付書類として既に提出している場合は、当該書類の添付を省略することができる。
3. 地域公共交通再編実施計画の認定を受け、特例措置の適用を受けることとなる場合は、地域公共交通再編実施計画の写し並びに再編特例を受けようとする系統の再編の概要
4. 所管運賃の上限数更認可を受け、補助金交付要綱別表2（注）4.の適用を受けることとなる場合は、当該認可書の写し

# 土山本線

兼・停留所一覧図



# ①地域間幹線系統の利用者増・収入増・効率化等に直接的に寄与する取組

別冊資料2

取組項目	該当路線	取組年度	参画主体	取組内容	事業実績	R8年度以降の取組方針
土山地域の持続可能な移動手段構築に向けた検討	土山本線	H6年度～	滋賀県、甲賀市、甲賀市公共交通活性化協議会	「滋賀県地域特性に応じた交通ネットワーク構築事業」の採択を受け、運転手不足などに対応しながら、幹線である土山本線の活性化・利用促進を図るとともに地域の移動手段を維持するため、新しい移動サービスの導入を検討	・地域住民、観光客アンケート ・公共ライドシェアの実証運行 ・グリーンスローモビリティ実証運行 ・実証運行の分析	県と連携し、情報共有しながらフォローアップしていく
土山地域のバス路線再編	土山本線	H6年度～	甲賀市、甲賀市公共交通活性化協議会、㈱シガ・エージェントシステム、滋賀バス㈱	滋賀県と連携して実施した実証運行結果等をふまえ、運転手不足のなか持続可能な交通網を維持するため、利用が少ないバス路線を廃止し、公共ライドシェアの実証運行を検討	幹線と接続する4路線を廃止し、公共ライドシェアの実証運行を実施	実証運行結果を分析しながら、本格導入に向けた検討を行う
乗り継ぎ拠点となるバス停留所の待合環境改善	土山本線	H6年度～	甲賀市、甲賀市公共交通活性化協議会、㈱シガ・エージェントシステム	利用者の利便性向上と利用促進を図るため、雨をしのげる待合所の設置など、待合環境の向上を図る	近江土山・・・運行時刻表示デジタルサイネージの設置 田村神社(上り)・水口西部コミセン(上り)・・・待合所の改修	田村神社(上り)・・・待合所の改修、運行時刻表示デジタルサイネージの設置
一日フリー乗車券の販売	土山本線		甲賀市、甲賀市公共交通活性化協議会、㈱シガ・エージェントシステム、滋賀バス㈱	市内コミバスを1日に限り500円で乗り放題となるフリー乗車券を販売	土山本線全利用者数 ・R6年度下半期 89,500人 (前年同時期比+14%)	引き続き取組実施
デジタル定期券の販売	土山本線	H6年度～	甲賀市、甲賀市公共交通活性化協議会、㈱シガ・エージェントシステム、滋賀バス㈱	専用のスマホアプリにおいてクレジットカード等で定期券を購入可能	土山本線全利用者数 ・R6年度下半期 89,500人 (前年同時期比+14%)	引き続き取組実施
無料乗車券制度の実施	土山本線	H26年度～	甲賀市、㈱シガ・エージェントシステム、滋賀バス㈱	75歳以上の方、障がい者手帳を保持されている方に対し、無料で乗車できる制度を実施	土山地域利用者数 ・R6年度下半期 19,700人 (前年同時期比△2%)	引き続き取組実施
お試し自主返納にかかる1日フリー券の配布	土山本線	R6年度～	滋賀県警、甲賀市、甲賀市公共交通活性化協議会、㈱シガ・エージェントシステム、滋賀バス㈱、信楽高原鐵道㈱	県警が実施する「運転免許お試し自主返納」に合わせて参加者に対し、コミバス・信楽高原鐵道の1日フリー乗車券を配布	15名	引き続き取組実施
地域と連携した利用促進の実施	土山本線	R7年度～	甲賀市、甲賀市公共交通活性化協議会	道の駅「あいの土山」のリニューアルオープンに合わせた利用促進を実施 ・利用者に施設割引券もしくは買い物者にバス片道無料券を配布。	—	新規事業

## ②その他交通ネットワーク全体の活性化や再編・利用促進につながる取組

取組項目	取組年度	参画主体	取組内容	事業実績	R8年度以降の取組方針
地域公共交通計画の策定	R5年度～	甲賀市、甲賀市公共交通活性化協議会	市内の公共交通ネットワークの最適化、再構築を図るため前網形成計画の見直しに合わせて計画策定。	計画の進捗確認	引き続き取組実施
バスロケーションシステム等ICTシステムの活用・導入	R3年度～	甲賀市、甲賀市公共交通活性化協議会、㈱シガ・エージェントシステム、滋賀バス㈱	バス利用者の利便性向上、適切なダイヤ改正、利用者にバス運行情報を見える化するため、ICTを活用した情報発信を実施	バス運行確認システムの導入	引き続き運用を継続





甲賀市地域公共交通計画の修正について

1 地域間幹線系統国庫補助金計画認定申請にかかる変更

前号議題のとおり、「地域間幹線系統国庫補助金」の認定を目指し、計画認定申請するにあたり、R7.4.1のダイヤ改正により路線を再編しましたので、以下のとおり計画を修正します。

P48上部

(変更前)

4 目標を達成するための施策メニュー

表 地域公共交通確保維持事業による維持確保を目指す系統の概要等

【系統の概要】

路線	土山本線（田村神社—貴生川駅間）
位置づけ	幹線 (3.3 「図 将来の地域公共交通ネットワークのイメージ図」(P.38) のとおり)
役割	合併前の旧土山町と旧水口町を結ぶ主に国道1号を運行する路線である。 旧土山町は国道1号を中心に住居地が立地し、交通結節点である旧水口町の貴生川駅や市中心部の旧水口町へ向かう地域の通学・通勤を担う。 (3.3 「図 将来の地域公共交通ネットワークのイメージ図」(P.38) のとおり)
事業の必要性	交通結節点である旧水口町の貴生川駅や市中心部の旧水口町へ向かう地域の通学・通勤を担う重要な役割を果たしており、鉄道がない旧土山町住民生活の生命線として存続させる必要がある。しかし、自治体や事業者の運営努力だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する必要がある。
目標	(3.4 計画の目標 のとおり)
事業概要	
実施主体	甲賀市 (運行は、滋賀バス株式会社(SB)、株式会社シガ・エージェンツシステム(SAS)に委託)
運行態様	路線定期運行
事業区分	道路運送法第4条 一般乗合旅客自動車運送事業
車両	大型バス・中型バス・小型バス
運賃	大人250円(均一運賃)
資金調達 (予定)	国庫補助金(地域間幹線系統補助金) 滋賀県補助金・甲賀市補助金

【運行概要】(令和6(2024)年4月1日現在)

名称	経路			運行会社	運行日	運行回数	運行時間帯	
	起点	経由	終点				始発	終着
幹線								
土山本線	貴生川駅	新水口	田村神社	SAS・SB	毎日	16.5回	6:15	21:09
		水口東高				6回	7:22	20:35
		区間急行				1回	6:35	7:25
		甲賀病院	SAS	1回		13:40	17:04	

(変更後)

【運行概要】(R7. 4. 1現在)

名称	経路			運行会社	運行日	運行回数	運行時間帯	
	起点	経由	終点				始発	終着
幹線								
土山本線	貴生川駅	新水口	田村神社	SAS・SB	毎日	12.5 回	6:09	21:09
		水口東高				5.5 回	7:10	20:07
		区間急行		SAS		0.5 回	6:55	7:25
		甲賀病院				2.5 回	8:10	15:13

## 2 「交通空白」解消緊急対策事業にかかる変更

本市地域公共交通が抱える課題を解決し、「交通空白（地域・日時）」を解消するため、今年度「交通空白」解消緊急対策事業を活用して、土山地域で実施している公共ライドシェアの実証運行を継続するとともに他地域への追加導入を見据えた実証運行を実施します。

そのため、事業の活用にあたり、3ページのとおり計画を見直します。

### P46上部

事業内容に以下の内容を追記します。

#### ○ライドシェア等の新しい輸送手段の導入

**新規** 「交通空白」するため、ライドシェア等の新しい輸送手段を導入

4 目標を達成するための施策メニュー

基本方針 2. 「地域の暮らしを守る」地域間幹線・支線の維持と効率化

施策メニュー ④コミバス・コミタクの再編

事業内容（案）

継続：継続事業 新規：新規事業

○コミバスの見直し

- 継続 利用実態にあわせた経路やダイヤ、停留所位置の見直しによる利便性向上と運行の効率化
- 継続 利用の少ない路線での予約制デマンド運行の導入
- 新規 拠点的な停留所での乗り継ぎ割引導入
- 新規 安全な降車を前提とした中山間地域等でのフリー降車区間導入



需要に応じた小型車両での運行

○コミタクの見直し

- 新規 コミタク制度設計の再検討（距離制運賃導入、エリア外運行制度導入 等）

○公共交通網の見直しによる国庫補助・県費補助制度の活用

- 継続 滋賀県補助制度との連動検討（地域間幹線系統確保維持費補助金、滋賀県コミュニティバス運行対策費補助金、滋賀県生活交通セーフティネット・交通不便地デマンド交通運行対策費補助金）
  - 新規 国庫補助制度の活用による財源確保（地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統確保維持費補助金、地域内フィーダー系統確保維持費補助金））
- ※事業の必要性や実施主体、その他目標等については P. 48 に記載

○障がい者や高齢者の移動支援

- 継続 福祉施策とあわせた最適な施策体系の検討
- 新規 健康促進事業（健康ポイント等）との連携による徒歩と地域公共交通での移動促進
- 新規 コミバスやコミタクでカバーできないニーズを補完するための地域の輸送資源の活用

○通学を担う移動手段の見直し

- 新規 スクールバスなどの導入による安全な通学の確保
- 新規 利用しやすい運賃施策（学期定期、回数券等）の導入

健康アプリ「BIWA-TEKU」

健康ポイントをためて「健康で長生き」を目指すためのサポートアプリとして提供しています。現在は、対象健診の受診やスタンプラリーの参加、自分で立てた健康づくりの目標実践等でポイントがたまり、賞品へ応募できます。



実施主体

甲賀市	国	県	交通事業者	地域住民	その他
○	○	○	○		沿線自治体と連携

スケジュール（年度）

令和 5 (2023)	令和 6 (2024)	令和 7 (2025)	令和 8 (2026)	令和 9 (2027)	令和 10 (2028)	長期
			継続事業の実施			
新規事業の具体化		順次実施 (2023. 10~)				

## 赤字を追記します。

## 【再編の基本方針について】

## ○コミバスの見直しの基本的な考え方

- ・利用人数が少ない路線、長時間運転となる便・仕業、収支率の低い便、重複する路線について、ルートの変更、便の廃止、予約制デマンド運行へ移行する。
- ・利用人数が見込める路線については、ダイヤの充実、路線の新設を図る。
- ・鉄道の利用促進のため、2次交通機能として充実を図る。
- ・鉄道やバス、タクシーにより、移動の確保が見込めず、時間・地理的等の交通空白が生じている地域については、ライドシェア等の輸送サービスを導入し、「交通空白」の解消を図る。

## ○地域別の基本的な考え方

地域	再編の考え方	課題
水口	<ul style="list-style-type: none"> <li>○路線重複が見られる区間のルートの見直し</li> <li>○運行遅延が多い長距離路線の分割</li> <li>○鉄道の活用（貴生川駅・三雲駅の利便性向上のための2次交通機能の充実）</li> <li>○デマンド運行導入地域における利用状況を踏まえた改善・コミバス復活の検討</li> <li>○市中心部における運行見直し</li> <li>○日中の利用が少ない路線におけるデマンド運行化等の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅団地や市街地部等、利用が多いコミバス路線、地域のラストワンマイル対応</li> <li>・小学生の通学対応</li> <li>・コミタクの収支改善</li> <li>・貴生川駅勢圏以外の「交通空白」の解消</li> </ul>
土山	<ul style="list-style-type: none"> <li>○バス停間隔が広い区間におけるフリー降車区間の導入</li> <li>○近江土山駅を拠点とした路線の見直し</li> <li>○日中の利用が少ない路線におけるデマンド運行化等の検討</li> <li>○コミバス運行本数が少ない地域の利便性確保のため、公共ライドシェアを導入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生の通学対応</li> <li>・コミタクの収支改善</li> <li>・運行主体の検討</li> <li>・「交通空白」の解消</li> </ul>
甲賀	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日中の利用が少ない路線におけるデマンド運行化等の検討</li> <li>○コミバス運行本数が少ない地域の利便性確保</li> <li>○JR草津線の活用（甲賀駅の利便性向上のための2次交通機能の充実）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生の通学対応</li> <li>・JR草津線の貴生川-柘植駅間の利用促進</li> <li>・「交通空白」の解消</li> </ul>
甲南	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日中の利用が少ない路線におけるデマンド運行化等の検討</li> <li>○デマンド運行導入地域における利用状況を踏まえた改善・コミバス復活の検討</li> <li>○コミバス運行本数が少ない地域の利便性確保</li> <li>○JR草津線の活用（甲南駅・寺庄駅の利便性向上のための2次交通機能の充実）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生の通学対応</li> <li>・コミタクの収支改善</li> <li>・JR草津線の貴生川-柘植駅間の利用促進</li> <li>・「交通空白」の解消</li> </ul>
信楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日中の利用が少ない路線におけるデマンド運行化等の検討</li> <li>○コミバス運行本数が少ない地域の利便性確保</li> <li>○バス停間隔が広い区間におけるフリー降車区間の導入</li> <li>○信楽高原鐵道の活用（信楽駅・雲井駅の利便性向上のための2次交通機能の充実）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生の通学対応</li> <li>・運行主体の検討</li> <li>・SKRの利用促進</li> <li>・「交通空白」の解消</li> </ul>



## 公共交通を利用した体験学習等事業費補助金について

### 趣 旨

少子高齢化やコロナ禍により、地域公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況であり、本市の生命線であるJR草津線はコロナ禍前と比較して減便されております。

今後も、利用者が増えなければ更なる見直しが実施されることも想定されます。

本市では、このような状況を回避し、未来を担う子どもたちのため、そして本市が環境未来都市を目指す観点からも、将来に持続可能な公共交通の実現を目指し、今年度様々な取り組みを実施しております。

つきましては、利用促進策として、校外学習や部活動等でJR草津線や市内公共交通機関を利用の際は、運賃を補助します。

### 概 要

#### JR草津線・市内公共交通機関を利用した体験学習等に対して、運賃の補助を行います

#### 【対象団体】

甲賀市内に所在する保育園、幼稚園、小学校、中学校等の保育・教育機関

#### 【対象事業】

JR草津線・市内公共交通機関を利用し行う部活動、体験学習、交流学习、その他補助対象者が行う公式事業

※行事の内容や区間によっては、補助できないものがあります。

#### 【対象経費】

対象事業における園児・児童・生徒および引率者の鉄道及び路線バスの運賃。

#### 【補助率等】

運賃の1/2(ただし、JR草津線の全区間又は市内公共交通エリア内の運賃は全額。補助額の上限は1人1日1,000円。)

例①:JR貴生川-JR草津:全額補助

例②:JR貴生川-JR石山:510円のうち、JR貴生川→JR草津間の420円と差額の90円の1/2の45円を補助。

※予算の範囲内で補助します。

#### 【申請受付開始日】

令和7年5月中旬頃～

(※令和7年4月1日以降の事業を対象とする)

#### 【申請の流れ・補助金支払】

補助金は事業実施後の精算払いとなります。

**事前予約⇒事業実施⇒交付申請書(兼実績報告書・交付請求書)**

**⇒補助金受領**

## ○公共交通を利用した体験学習等事業費補助金交付要領

令和 7 年〇月 1 日

(趣旨)

第 1 条 この要領は、公共交通を利用した体験学習等事業（以下「事業」という。）を実施する場合に要する経費について、予算の範囲内で交付する公共交通を利用した体験学習等事業費補助金（以下「補助金」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(補助対象者)

第 2 条 補助金の交付の対象となる者（以下「補助対象者」という。）は、市内に所在する保育園、幼稚園、小学校、中学校等の保育・教育機関とする。

(補助対象事業)

第 3 条 補助金の交付の対象となる事業（以下「補助対象事業」という。）は、公共交通を利用した体験学習、交流学习、部活動その他補助対象者が実施する公式事業として会長が認めるものとする。

(補助対象経費)

第 4 条 補助金の交付の対象となる経費（以下「補助対象経費」という。）は、補助対象事業における園児、児童、生徒及び引率者の鉄道及び路線バスの運賃とする。

(補助金の額)

第 5 条 補助金の額は、補助対象経費の 2 分の 1（JR草津線の全区間又は市内公共交通エリア内の運賃にあつては、10 分の 10）に相当する額とする。ただし、1 人 1 日当たり 1,000 円を限度とする。

(事前協議)

第 6 条 補助金の交付を受けようとする者は、補助対象事業の実施日の 7 日前までに、公共交通を利用した体験学習等事業費補助金事前協議書（様式第 1 号）を会長に提出し、受理されなければならない。

(交付申請等)

第 7 条 補助金の交付を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、公共交

通を利用した体験学習等事業費補助金交付申請書兼実績報告書兼請求書（様式第2号）に、次に掲げる書類を添えて、会長に提出しなければならない。

（1） 事業計画書兼事業実績書（様式第3号）

（2） その他会長が必要と認める書類

2 前項の申請書等は、補助対象事業の実施日から起算して30日を経過した日又は、申請年度の3月31日のいずれか早い日までに会長に提出しなければならない。

（交付決定及び額の確定）

第8条 会長は、前条の規定による申請があった場合において、審査の上、これを適当と認めるときは、速やかに補助金の交付決定及び額の確定（以下「交付決定等」という。）を行い、公共交通を利用した体験学習等事業費補助金交付決定及び額の確定通知書（様式第4号）により申請者に通知するものとする。

（補助金の支払）

第9条 会長は、前条に規定する交付決定等を行った場合は、交付決定等を受けた者に対し、30日以内に補助金を交付するものとする。

（関係書類の保存期間）

第10条 補助金の交付決定等を受けた者は、補助対象事業に係る帳簿及び証拠書類を当該補助対象事業が完了した日の属する年度の翌年度から起算して5年間保存しなければならない。

（その他）

第11条 この要領に定めるもののほか、補助金の交付に関し必要な事項は、会長が別に定める。

付 則

この要領は、令和7年〇月1日から施行し、令和7年4月1日から適用する。

様式第 1 号（第 6 条関係）

年 月 日

甲賀市地域公共交通活性化協議会長 あて

申込者 施 設 名

代 表 名

FAX 番 号 \_\_\_\_\_

担当者氏名

電 話 番 号 \_\_\_\_\_

公共交通を利用した体験学習等事業費補助金事前協議書

令和 年度において、公共交通を利用した体験学習等事業について、以下のとおり実施  
したいので事前に協議します。

事業内容等

行事名（体験学習名）	
実施学年・部活名	第 学年（ 部）
実施日（予定）	年 月 日 （予備日 年 月 日）
園児・児童・生徒数	人
引率者数	人
行程	(出発) →  → (到着)

(単位：円)

総事業費				
【内訳】	区間	運賃補助額（円）	人数（人）	合計（円）
園児・児童・生徒				
引率者				

年 月 日

甲賀市地域公共交通活性化協議会長 あて  
申請者  
住所  
代表者名  
担当者氏名  
連絡先

公共交通を利用した体験学習等事業費補助金交付申請書  
兼実績報告書兼請求書

標記の補助金について、公共交通を利用した体験学習等事業費補助金交付要領第7条の規定により、関係書類を添えて、下記の通り申請及び請求します。

記

1 交付を受けようとする補助金の額

公共交通を利用した体験学習等事業費補助金	円
----------------------	---

振込先

金融機関名・支店名	
口座番号	普通・当座 NO. ( )
(ふりがな) 口座名義人	

2 関係書類

- (1) 事業計画書兼事業実績書（様式第3号）
- (2) その他会長が必要と認める書類



様式第3号（第7条関係）

事業計画書兼事業実績書

1. 実施事業の目的

2. 実施事業の期間

3. 実施事業の内容

4. 収支決算書

収入 (単位：円)

本補助金	
その他補助金	
その他(自主財源)	
合計	

支出 (単位：円)

総事業費				
補助対象事業費				
【内訳】	区間	運賃補助額（円）	人数(人)	合計(円)
園児・児童・生徒				
引率者				

5. 補助対象事業の取組内容が分かる書類、その他会長が必要と認める書類

第 号  
年 月 日

様

甲賀市地域公共交通活性化協議会長 印

公共交通を利用した体験学習等事業費補助金交付決定及び  
額の確定通知書

年 月 日付けで申請のあった標記の補助金については、公共交通を利用した体験学習等事業費補助金交付要領第 8 条の規定により、下記のとおり交付することに決定し、その額を確定したので通知します。

記

補助金の決定額

公共交通を利用した体験学習等事業費補助金	円
----------------------	---